

大学番号：024

認可

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

国際医療福祉大学大学院 医学研究科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 東京赤坂キャンパス 事務部

職名・氏名

電話番号

（夜間）

F A X

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医学研究科

＜公衆衛生学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

＜医学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	38
2. 授業科目の概要	42
3. 施設・設備の整備状況、経費	48
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	50
5. 教員組織の状況	55
6. 留意事項等に対する履行状況等	75
7. その他全般的事項	76

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学大学院医学研究科公衆衛生学専攻修士課程

(3) 大学の位置

〒286-8686
千葉県成田市公津の杜4丁目3番
(〒324-8501)
(栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)		
大学院長	(アマノ タカヒロ) 天野 隆弘 (平成27年1月)	(ミウラ ソウイチロウ) 三浦 総一郎 (平成29年6月)	任期満了のため大学院長交替 (30)
専攻主任	(イケダ シュンヤ) 池田 俊也 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学研究科 公衆衛生学専攻 (修士課程) 修士(公衆衛生学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	2年	10人	0人	20人	基礎となる学部等 医学部医学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	10人 () [-]	人	10人 () [-]	人			1.40倍	※1 入学者14名のほか、1名転研究科生あり	
志願者数	14 (14) [2]	() []	16 (16) [2]	() []					
受験者数	14 (14) [2]	() []	16 (16) [2]	() []					
合格者数	14 (14) [2]	() []	16 (16) [2]	() []					
B 入学者数	14※ (14) [2]	() []	14 (14) [2]	() []					
入学定員超過率 B/A	1.40		1.40						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	15 [2] (—)	— [—] (—)	15 [2] (1)	— [—] (—)			※ 入学者14名のほか、1名 転研究科生あり
2 年次			14 [2] (—)	— [—] (—)			
3 年次							
計	15※ [2] (—)		29 [4] (1)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	15 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	29 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学研究科 公衆衛生学専攻修士課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	生物統計学概論	1前	2			2						
	疫学概論	1前	2			2						
	環境保健学概論	1前	2			2						
	医療管理学概論	1前	2								2	
	医療倫理学概論	1前	2			1					1	
	社会行動科学概論	1前	2			3						
	医療経済学概論	12前		2		1	1					
	医療情報システム概論	12前		2							1	
	臨床心理学概論	12後		2							8	
	医療人類学	12前		2							1	
	質的研究法概論	12前		2							1	
	心理学研究法概論	12前		2							1	
	研究デザイン入門	12前		2		2					3	
	研究デザイン演習	12後		2		3					3	
医学概論I(基礎医学)	1前		2		1					14		
医学概論II(臨床医学)	1後		2		1					14		
専攻科目・国際医療学分野	国際保健学概論	12前	2			2						
	国際保健学各論	12後	2			2				1		
	感染症学	12前	2			4						
	国際感染症学	12後	2			4						
	国際機関論	12後	2			1				1		
	国際保健学分野インターンシップ	2前	2			1						
	国際保健学研究指導I(研究計画作成)	1前	2			4	2					
	国際保健学研究指導II(文献検索)	1後	2			4	2					
	国際保健学研究指導III(データ収集)	2前	2			4	2					
	国際保健学研究指導IV(データ分析)	2前	2			4	2					
国際保健学研究指導V(論文作成)	2後	2			4	2						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	生物統計学概論	1前	2			2						
	疫学概論	1前	2							0		2
	環境保健学概論	1前	2							1		1
	医療管理学概論	1前	2							1		
	医療倫理学概論	1前	2			1						1
	社会行動科学概論	1前	2			3						
	医療経済学概論	12前		2		1	1					
	医療情報システム概論	12前		2								1
	臨床心理学概論	12後		2								8
	医療人類学	12後		2							1	
	質的研究法概論	12前		2							1	
	心理学研究法概論	12前		2							1	
	研究デザイン入門	12前		2		2					3	
	研究デザイン演習	12後		2		3					3	
医学概論I(基礎医学)	1前		2		1					14		
医学概論II(臨床医学)	1後		2		1					14		
専攻科目・国際医療学分野	国際保健学概論	12前	2			2						
	国際保健学各論	12後	2			2				2		1
	感染症学	12前	2			4						
	国際感染症学	12後	2			4						
	国際機関論	12後	2			1				1		1
	国際保健学分野インターンシップ	2前	2			1						
	国際保健学研究指導I(研究計画作成)	1前	2			4	2			4	5	2
	国際保健学研究指導II(文献検索)	1後	2			4	2			4	5	2
	国際保健学研究指導III(データ収集)	2前	2			4	2			4	5	2
	国際保健学研究指導IV(データ分析)	2前	2			4	2			4	5	2
国際保健学研究指導V(論文作成)	2後	2			4	2			4	5	2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目・医療福祉管理学分野	医療福祉政策学概論	12前	2							1	
	医療福祉政策学各論	12後	2			1				2	
	医療経営学入門	12前	2				1			5	4
	医療福祉経営学各論	12後	2							4	
	財務会計論	12前	2							1	
	管理会計論	12前	2							1	
	医療福祉と税法	12後	2							1	
	医療の質とリスクマネジメント	12後	2			1				1	
	医療マーケティング論	12後	2							1	0
	医療における法と倫理	12前	2							1	
	医療経営戦略論	12後	2							1	
	—										
	—										
	医療福祉管理学分野インターンシップ	2前	2			1					
	医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成)	1前	2			2				2	
	医療福祉管理学研究指導II(文献検索)	1後	2			2				2	
	医療福祉管理学研究指導III(データ収集)	2前	2			2				2	
	医療福祉管理学研究指導IV(データ分析)	2前	2			2				2	
	医療福祉管理学研究指導V(論文作成)	2後	2			2				2	
	専門科目・疫学・社会医学分野	生物統計学各論	12後	2			2				
疫学各論		12後	2			2					2
臨床疫学概論		2前	2			2					
臨床疫学各論		2後	2			2					
社会行動科学各論		12後	2			3					
社会医学各論		12後	2			3					
産業保健学		12後	2			4					
疫学・社会医学分野インターンシップ		2前	2			1					
疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成)		1前	2			9					
疫学・社会医学研究指導II(文献検索)		1後	2			9					
疫学・社会医学研究指導III(データ収集)		2前	2			10					
疫学・社会医学研究指導IV(データ分析)		2前	2			10					
疫学・社会医学研究指導V(論文作成)		2後	2			10					
合計(57科目)	—										
卒業要件及び履修方法											
医学系学部出身者は、必修科目16単位、選択科目16単位、研究指導科目10単位の計42単位以上修得すること。非医学系学部出身者は、必修科目20単位、選択科目12単位、研究指導科目10単位の計42単位以上を修得すること。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目・医療福祉管理学分野	医療福祉政策学概論	12前	2								1
	医療福祉政策学各論	12後	2			1					2
	医療経営学入門	12前	2					1			5
	医療福祉経営学各論	12後	2					1			4
	財務会計論	12前	2								1
	管理会計論	12前	2								1
	医療福祉と税法	12後	2								1
	医療の質とリスクマネジメント	12後	2					1			1
	医療マーケティング論	12後	2								1
	医療における法と倫理	12前	2								1
	医療経営戦略論	12前	2								1
	医療福祉データサイエンス概論(新規)	12前	2			1					1
	医療福祉データサイエンス各論(新規)	12後	2			1					1
	医療福祉管理学分野インターンシップ	2前	2			1					
	医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成)	1前	2			3					2
	医療福祉管理学研究指導II(文献検索)	1後	2			3					2
	医療福祉管理学研究指導III(データ収集)	2前	2			3					2
	医療福祉管理学研究指導IV(データ分析)	2前	2			3					2
	医療福祉管理学研究指導V(論文作成)	2後	2			3					2
	専門科目・疫学・社会医学分野	生物統計学各論	12後	2			2				
疫学各論		12後	2			2		1			2
臨床疫学概論		2前	2			2		2			
臨床疫学各論		2後	2			2		2			
社会行動科学各論		12後	2			3					
社会医学各論		12後	2			3		3	4		
産業保健学		12後	2			4		1	2		
疫学・社会医学分野インターンシップ		2前	2			1					
疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成)		1前	2			9		10	11		
疫学・社会医学研究指導II(文献検索)		1後	2			9		10	11		
疫学・社会医学研究指導III(データ収集)		2前	2			10		11			
疫学・社会医学研究指導IV(データ分析)		2前	2			10		11			
疫学・社会医学研究指導V(論文作成)		2後	2			10		11			
合計(59科目)	—										
卒業要件及び履修方法											
医学系学部出身者は、必修科目16単位、選択科目16単位、研究指導科目10単位の計42単位以上修得すること。非医学系学部出身者は、必修科目20単位、選択科目12単位、研究指導科目10単位の計42単位以上を修得すること。											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	生物統計学概論	1前	2			2						
	疫学概論	1前	2									2
	環境保健学概論	1前	2			1						
	医療管理学概論	1前	2			1						
	医療倫理学概論	1前	2			1						1
	社会行動科学概論	1前	2			3						
	医療経済学概論	12前		2		1	1					
	医療情報システム概論	12前		2								1
	臨床心理学概論	12後		2								8
	医療人類学	12後		2								1
	質的研究法概論	12前		2								1
	心理学研究法概論	12前		2								1
	研究デザイン入門	12前		2		2						3
	研究デザイン演習	12後		2		3						3
	医学概論I(基礎医学)	1前		2		1						14
医学概論II(臨床医学)	1後		2		1						14	
専門科目・国際医療学分野	国際保健学概論	12前		2			2					
	国際保健学各論	12後		2			2					1
	感染症学	12前		2		4						
	国際感染症学	12後		2		4						
	国際機関論	12後		2			1					1
	国際保健学分野インターンシップ	2前		2			1					
	国際保健学研究指導I(研究計画作成)	1前		2		4	2					
	国際保健学研究指導II(文献検索)	1後		2		4	2					
	国際保健学研究指導III(データ収集)	2前		2		4	2					
	国際保健学研究指導IV(データ分析)	2前		2		4	2					
国際保健学研究指導V(論文作成)	2後		2		4	2						
専門科目・医療福祉管理学分野	医療福祉政策学概論	12前		2								1
	医療福祉政策学各論	12後		2		1						2
	医療経営学入門	12前		2			1					5
	医療福祉経営学各論	12後		2		1						
	財務会計論	12前		2								1
	管理会計論	12前		2								1
	医療福祉と税法	12後		2								1
	医療の質とリスクマネジメント	12後		2		1						1
	医療マーケティング論	12後		2								1
	医療における法と倫理	12前		2								1
	医療経営戦略論	12前		2								1
	医療福祉管理学分野インターンシップ	2前		2		1						
	医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成)	1前		2		3						2
	医療福祉管理学研究指導II(文献検索)	1後		2		3						2
	医療福祉管理学研究指導III(データ収集)	2前		2		3						2
医療福祉管理学研究指導IV(データ分析)	2前		2		3						2	
医療福祉管理学研究指導V(論文作成)	2後		2		3						2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目・疫学・社会医学分野	生物統計学各論	12後		2		2						
	疫学各論	12後		2								2
	臨床疫学概論	2前		2		2						
	臨床疫学各論	2後		2		2						
	社会行動科学各論	12後		2		3						
	社会医学各論	12後		2		3						
	産業保健学	12後		2		1						
	疫学・社会医学分野インターンシップ	2前		2		1						
	疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成)	1前		2		10						
	疫学・社会医学研究指導II(文献検索)	1後		2		10						
	疫学・社会医学研究指導III(データ収集)	2前		2		11						
	疫学・社会医学研究指導IV(データ分析)	2前		2		11						
	疫学・社会医学研究指導V(論文作成)	2後		2		11						
	合計(57科目)	-										
卒業要件及び履修方法												
医学系学部出身者は、必修科目16単位、選択科目16単位、研究指導科目10単位の計42単位以上修得すること。非医学系学部出身者は、必修科目20単位、選択科目12単位、研究指導科目10単位の計42単位以上を修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員着任時期延期及び退職により、「疫学概論」の教員等の配置を「専任 教授2」から「兼任 2」に変更。
- ・担当教員着任時期延期及び退職により、当該科目を専門とする教員を補充したため、「環境保健学概論」の専任教員等の配置を「専任 教授2」から「専任 教授1」に変更。
- ・当該科目を専門とする専任教員の新規着任により、「医療管理学概論」の教員等の配置を「兼任 2」から「専任 教授1」に変更。
- ・教育効果を配慮し、「医療人類学」の配当年次を「12前」から「12後」に変更。
- ・当該科目を専門とする専任教員の新規着任により、「医療福祉経営学各論」の教員等の配置を「兼任 4」から「専任 教授1」に変更。
- ・教育効果を配慮し、「医療経営戦略論」の配当年次を「12後」から「12前」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「医療福祉管理学研究指導Ⅰ（研究計画作成）」の専任教員等の配置を「専任 教授2」から「専任 教授3」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「医療福祉管理学研究指導Ⅱ（文献検索）」の専任教員等の配置を「専任 教授2」から「専任 教授3」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「医療福祉管理学研究指導Ⅲ（データ収集）」の専任教員等の配置を「専任 教授2」から「専任 教授3」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「医療福祉管理学研究指導Ⅳ（データ分析）」の専任教員等の配置を「専任 教授2」から「専任 教授3」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「医療福祉管理学研究指導Ⅴ（論文作成）」の専任教員等の配置を「専任 教授2」から「専任 教授3」に変更。
- ・担当教員着任時期延期及び退職により、「疫学各論」の教員等の配置を「専任 教授2」から「兼任 2」に変更。
- ・当該科目を専門とする教員の新規着任により、「専任 教授4」から「新規着任専任 教授1」に変更。
- ・専任教員の就任前倒しにより、「疫学・社会医学研究指Ⅰ（研究計画作成）」の専任教員等の配置を「専任 教授9」から「専任 教授10」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「疫学・社会医学研究指Ⅱ（文献検索）」の専任教員等の配置を「専任 教授9」から「専任 教授10」に変更。
- ・新規教員着任により、「疫学・社会医学研究指Ⅲ（データ収集）」の専任教員等の配置を「専任 教授10」から「専任 教授11」に変更。
- ・新規教員着任により、「疫学・社会医学研究指Ⅳ（データ分析）」の専任教員等の配置を「専任 教授10」から「専任 教授11」に変更。
- ・新規教員着任により、「疫学・社会医学研究指Ⅴ（論文作成）」の専任教員等の配置を「専任 教授10」から「専任 教授11」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員着任により、「疫学概論」の教員等の配置を「兼任 2」から「専任 教授1、兼任 1」に変更。
- ・担当教員着任により、「環境保健学概論」の教員等の配置を「専任 教授1」から「専任 教授2」に変更。
- ・担当教員退職により、「臨床心理学概論」の教員等の配置を「兼任8」から「兼任7」に変更。
- ・担当教員退職により、「研究デザイン入門」の教員等の配置を「専任 教授2 兼任3」から「専任 教授2 兼任2」に変更。
- ・担当教員退職により、「研究デザイン演習」の教員等の配置を「専任 教授3 兼任3」から「専任 教授3 兼任2」に変更。
- ・担当教員退職により、「医学概論Ⅰ（基礎医学）」の教員等の配置を「専任 教授1 兼任14」から「専任 教授1 兼任12」に変更。
- ・教員の専門性を考慮し、「国際保健学研究指導Ⅰ（研究計画作成）」の教員等の配置を「専任 教授4 准教授2」から「専任 教授5 准教授2」に変更。
- ・教員の専門性を考慮し、「国際保健学研究指導Ⅱ（文献検索）」の教員等の配置を「専任 教授4 准教授2」から「専任 教授5 准教授2」に変更。
- ・教員の専門性を考慮し、「国際保健学研究指導Ⅲ（データ収集）」の教員等の配置を「専任 教授4 准教授2」から「専任 教授5 准教授2」に変更。
- ・教員の専門性を考慮し、「国際保健学研究指導Ⅳ（データ分析）」の教員等の配置を「専任 教授4 准教授2」から「専任 教授5 准教授2」に変更。
- ・教員の専門性を考慮し、「国際保健学研究指導Ⅴ（論文作成）」の教員等の配置を「専任 教授4 准教授2」から「専任 教授5 准教授2」に変更。
- ・担当教員退職により、「医療経営学入門」の教員等の配置を「専任 准教授1 兼任5」から「専任 准教授1 兼任4」に変更。
- ・担当教員退職により、「医療マーケティング論」の教員等の配置を「兼任1」から「兼任0」に変更（新規教員を選定中）。
- ・教員の専門性をより発揮するため、「医療データサイエンス概論」を新設、前期開講、2単位で、教員等の配置は「専任 教授1 兼任1」である。
- ・教員の専門性をより発揮するため、「医療データサイエンス各論」を新設、後期開講、2単位で、教員等の配置は「専任 教授1 兼任1」である。
- ・担当教員着任により、「疫学各論」の教員等の配置を「兼任 2」から「専任 教授1、兼任 1」に変更。
- ・担当教員着任により、「社会医学各論」の教員等の配置を「専任 教授3」から「専任 教授4」に変更。
- ・担当教員着任により、「産業保健学」の教員等の配置を「専任 教授1」から「専任 教授2」に変更。
- ・昨年度、着任前倒し教員の記載漏れのため、「疫学・社会医学研究指導Ⅰ（研究計画作成）」の教員等の配置を「専任 教授10」から「専任 教授11」に変更。
- ・昨年度、着任前倒し教員の記載漏れのため、「疫学・社会医学研究指導Ⅱ（文献検索）」の教員等の配置を「専任 教授10」から「専任 教授11」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	51 科目	0 科目	57 科目	6 科目 [-]	53 科目 [2]	0 科目 [-]	59 科目 [2]	・教員の専門性を活用するため、令和元年度より「医療福祉データサイエンス概論」及び「医療福祉データサイエンス各論」を新設

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{57} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 ■校舎敷地：借用面積 69,019㎡、期間30年 ■運動場用地：①借用 面積3,557㎡、期間5年 間（道路占用許可。そ の後、順次更新）②借用 面積5,659㎡、期間30年 ③借用面積11,944㎡、 期間30年 校舎敷地に国際医療 福祉大学市川病院を 追加（H29.9.1事業承 継）（30）			
	校 舎 敷 地	276,538 ㎡ 269,519 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	276,538 ㎡ 269,519 ㎡				
	運 動 場 用 地	100,751 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	100,751 ㎡				
	小 計	377,289 ㎡ 320,270 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	377,289 ㎡ 320,270 ㎡				
	そ の 他	113,975 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	113,975 ㎡				
	合 計	491,264 ㎡ 484,245 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	491,264 ㎡ 484,245 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	212,896 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	212,896 ㎡	大学全体 ■借用面積25,826㎡、 期間20年			
	(178,828 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(178,828 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	205 室	演 習 室 186 室	実験実習室 316 室	情報処理学習施設 23 室 (補助職員 8 人)	語学学習施設 10 室 (補助職員 0 人)	大学全体		
	新設学部等の名称	医学研究科			355 室				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			医学部・大学院			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	医学部医学研究科共通	
	国際医療福祉 大学大学院 医学研究科	17,265 [5,348] (8,138 [3,144])	219 [0] (100 [4])	7,173 [5,732] (6,608 [5,278])	0 (0)	27,811 (15,589)	108 (57)		
	計	17,265 [5,348] (8,138 [3,144])	219 [0] (100 [4])	7,173 [5,732] (6,608 [5,278])	0 (0)	27,811 (15,589)	108 (57)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	8,564 ㎡	1,853 席		367,360 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体			
	7,465 ㎡	弓道場		テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究科全体
		教員1人当り研究費等	400 千円	400 千円	図書購入費	45,262 千円	3,000 千円	3,000 千円	
	共同研究費等	3,000 千円	3,000 千円	設備購入費	15,398 千円	1,500 千円	1,500 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		900 千円	700 千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
医学部	6	140	-	840	-	1.00	-	平成29年度	-	
医学科	6	140	-	840	学士 (医学)	1.00	-	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番	
保健医療学部	4	545	-	2,180	-	0.98	-	平成7年度	-	
看護学科	4	115	-	460	学士 (看護学)	0.97	-	平成7年度	栃木県大田原市北金丸 2600番1	
理学療法学科	4	100	-	400	学士 (理学療法 学)	0.98	-	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法 学)	0.96	-	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚 学)	1.01	-	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	50	-	200	学士 (視機能療法 学)	0.98	-	平成14年度	同上	
放射線 ・情報科学科	4	120	-	480	学士 (放射線・情報 科学)	1.00	-	平成7年度	同上	
医療福祉学部	4	140	5	570	-	0.96	-	平成9年度	-	
医療福祉・マシナ リ学科	4	140	5	570	学士 (医療福祉 学) 学士 (医療マシナ リ学科)	0.96	-	平成9年度	同上	
薬学部	6	180	-	1,080	-	1.07	-	平成18年度	-	
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.07	-	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-	1.05	-	平成18年度	-	
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	-	平成18年度	神奈川県小田原市城山一 丁目2番25号	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.04	-	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.04	-	平成18年度	同上	
福岡看護学部	4	100	-	400	-	1.09	-	平成20年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	-	平成20年度	福岡県福岡市早良区百道 浜1-7-4	
福岡保健医療学部	4	240	-	960	-	1.06	-	平成17年度	-	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	-	平成17年度	福岡県大川市榎津137-1	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.04	-	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.04	-	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.05	-	平成25年度	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地
成田看護学部	4	100	-	400	-	1.09	-	平成28年度	-
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番
成田保健医療学部	4	240	-	960	-	1.06	-	平成28年度	-
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	-	平成28年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.07	-	平成28年度	同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.04	-	平成28年度	同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.06	-	平成28年度	同上
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	4	120	-	480	-	1.05	-	平成30年度	-
心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.10	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1 -26
医療マネジメン ト学科	4	60	-	240	学士 (医療マナ ジメント学)	1.00	-	平成30年度	同上
大学全体	-	2,005	5	8,670	-	1.04	-	平成7年度	-

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開年度	設年度	所在地	
大学の名称	国際医療福祉大学大学院									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開年度	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	年度	
医療福祉学研究科 修士課程	2	235	-	470	-	1.56	-	平成11年度		-	
保健医療学専攻	2	160	-	320	修士 (保健医療学)	1.74	-	平成11年度		栃木県大田原市北金丸 2600番1	
					修士 (看護学)		-				
					修士 (助産学)		-				
					修士 (言語聴覚学)		-				
					修士 (生殖補助医療学)		-				
					修士 (医療福祉教育・管理学)		-				
					修士 (臨床検査学)		-				
					修士 (災害医療学)		-				
					修士 (遺伝カウンセリング学)		-				
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学)	1.44	-	平成13年度		同上	
					修士 (診療情報管理学)		-				
					修士 (医療ビジネス経営学)		-				
					修士 (医療福祉管理学)		-				
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)		-				
					修士 (自立支援介護学)		-				
					修士 (自立支援実践ケアマネジメント学)		-				

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開年度	所在地
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (医療福祉 ジャーナリズム 学)	1.02	-	平成19年度	同上
					修士 (医療通 訳・国際医 療マネジメント 学)		-		
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	1.36	-	平成13年度	-
保健医療学専攻	3	70	-	210	修士 (臨床心理 学)	1.36	-	平成13年度	同上
					博士 (保健医療 学)		-		
					博士 (看護学)		-		
					博士 (助産学)		-		
					博士 (言語聴覚 学)		-		
					博士 (生殖補助 医療学)		-		
					博士 (臨床検査 学)		-		
					博士 (医療福祉 経営学)		-		
					博士 (医療福祉 学)		-		
					博士 (診療情報 管理学)		-		
					博士 (介護福祉・ ケアマネジメント 学)		-		
					博士 (臨床心理 学)		-		
					博士 (医療福祉 ジャーナリス ム学)		-		
薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.10	-	平成22年度	-
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.10	-	平成22年度	同上

既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.55	-	平成24年度	-
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.55	-	平成24年度	同上
医学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	1.40	-	平成30年度	-
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生 学)	1.40	-	平成30年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.10	-	平成30年度	-
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.10	-	平成30年度	同上
大学院全体	-	345	-	810	-	1.01	-	平成11年度	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 公衆衛生学専攻修士課程>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	ワナハ ハル 渡邊 治雄 (69) <平成30年4月>	専	教授	ワナハ ハル 渡邊 治雄 (69) <平成30年4月>	専	教授	ワナハ ハル 渡邊 治雄 (70) <平成30年4月>
		感染症学 国際感染症学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)			感染症学 国際感染症学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)			感染症学 国際感染症学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)
専	教授	カカ ケキ 中田 光紀 (51) <平成30年4月>	専	教授	カカ ケキ 中田 光紀 (51) <平成30年4月>	専	教授	カカ ケキ 中田 光紀 (52) <平成30年4月>
		社会行動科学概論 研究デザイン入門 研究デザイン演習 社会行動科学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)			社会行動科学概論 研究デザイン入門 研究デザイン演習 社会行動科学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)			社会行動科学概論 研究デザイン入門 研究デザイン演習 社会行動科学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	ヨヤマ カズヒト 横山 和仁 (64) <平成30年4月>	専	教授	ヨヤマ カズヒト 横山 和仁 (65) <平成31年4月>	専	教授	ヨヤマ カズヒト 横山 和仁 (66) <平成31年4月>
		疫学概論 環境保健学概論 疫学各論 社会医学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)			疫学概論 環境保健学概論 疫学各論 社会医学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)			疫学概論 環境保健学概論 疫学各論 社会医学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	ヤノ (ゴミ) ハルミ 矢野 (五味) 晴美 (50) <平成30年4月>	専	教授	ヤノ (ゴミ) ハルミ 矢野 (五味) 晴美 (50) <平成30年4月>	専	教授	ヤノ (ゴミ) ハルミ 矢野 (五味) 晴美 (51) <平成30年4月>
		感染症学 国際感染症学 研究デザイン入門 研究デザイン演習 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)			感染症学 国際感染症学 研究デザイン入門 研究デザイン演習 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)			感染症学 国際感染症学 研究デザイン入門 研究デザイン演習 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	伊ガキ セイイチ 稲垣 誠一 (62) <平成30年4月>
		生物統計学概論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	ヤマザキ ツトム 山崎 力 (60) <平成31年4月>
		臨床疫学概論 臨床疫学各論 疫学・社会医学分野インターンシップ 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	オカカキ 孝和 (58) <平成30年4月>
		社会行動科学概論 社会行動科学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	オギノ ミコ 荻野 美恵子 (57) <平成30年4月>
		医療倫理学概論 医療福祉政策学各論 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)
専	教授	イカガキ 和信 石川 和信 (56) <平成30年4月>
		社会医学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	伊ガキ セイイチ 稲垣 誠一 (62) <平成30年4月>
		生物統計学概論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	ヤマザキ ツトム 山崎 力 (59) <平成30年4月>
		臨床疫学概論 臨床疫学各論 生物統計学概論 生物統計学各論 疫学・社会医学分野インターンシップ 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	オカカキ 孝和 (58) <平成30年4月>
		社会行動科学概論 社会行動科学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	オギノ ミコ 荻野 美恵子 (57) <平成30年4月>
		医療倫理学概論 医療福祉政策学各論 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)
専	教授	イカガキ 和信 石川 和信 (56) <平成30年4月>
		社会医学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	伊ガキ セイイチ 稲垣 誠一 (63) <平成30年4月>
		生物統計学概論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	ヤマザキ ツトム 山崎 力 (60) <平成30年4月>
		臨床疫学概論 臨床疫学各論 生物統計学概論 生物統計学各論 疫学・社会医学分野インターンシップ 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	オカカキ 孝和 (59) <平成30年4月>
		社会行動科学概論 社会行動科学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	オギノ ミコ 荻野 美恵子 (58) <平成30年4月>
		医療倫理学概論 医療福祉政策学各論 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)
専	教授	イカガキ 和信 石川 和信 (57) <平成30年4月>
		社会医学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	7カヅ ハルコ 赤津 晴子 (56) <平成30年4月>
		社会医学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	イカダ シュンヤ 池田 俊也 (55) <平成30年4月>
		医療経済学概論 研究デザイン演習 医療の質とリスクマネジメント 医療福祉管理学分野インターンシップ 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)
専	教授	マツモト テツヤ 松本 哲哉 (55) <平成30年4月>
		医学概論I(基礎医学) 感染症学 国際感染症学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)
専	教授	ナガト ミチコ 中里 道子 (53) <平成30年4月>
		社会行動科学概論 医学概論II(臨床医学) 社会行動科学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	サカイ リョウタ 桜井 亮太 (48) <平成30年4月>
		生物統計学概論 臨床疫学概論 臨床疫学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	7カヅ ハルコ 赤津 晴子 (56) <平成30年4月>
		社会医学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	イカダ シュンヤ 池田 俊也 (55) <平成30年4月>
		医療経済学概論 研究デザイン演習 医療の質とリスクマネジメント 医療福祉管理学分野インターンシップ 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)
専	教授	マツモト テツヤ 松本 哲哉 (55) <平成30年4月>
		医学概論I(基礎医学) 感染症学 国際感染症学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)
専	教授	ナガト ミチコ 中里 道子 (53) <平成30年4月>
		社会行動科学概論 医学概論II(臨床医学) 社会行動科学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	サカイ リョウタ 桜井 亮太 (48) <平成30年4月>
		生物統計学概論 生物統計学各論 臨床疫学概論 臨床疫学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	7カヅ ハルコ 赤津 晴子 (57) <平成30年4月>
		社会医学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	イカダ シュンヤ 池田 俊也 (56) <平成30年4月>
		医療経済学概論 研究デザイン演習 医療の質とリスクマネジメント 医療福祉管理学分野インターンシップ 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)
専	教授	マツモト テツヤ 松本 哲哉 (56) <平成30年4月>
		医学概論I(基礎医学) 感染症学 国際感染症学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)
専	教授	ナガト ミチコ 中里 道子 (54) <平成30年4月>
		社会行動科学概論 医学概論II(臨床医学) 社会行動科学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
専	教授	サカイ リョウタ 桜井 亮太 (49) <平成30年4月>
		生物統計学概論 生物統計学各論 臨床疫学概論 臨床疫学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	かひ やすき 加藤 康幸 (48) ＜平成30年4月＞	専	教授	かひ やすき 加藤 康幸 (48) ＜平成30年4月＞	専	教授	かひ やすき 加藤 康幸 (49) ＜平成30年4月＞
		感染症学 国際感染症学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)			感染症学 国際感染症学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)			感染症学 国際感染症学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)
専	教授	みやぎ さい 宮木 幸一 (43) ＜平成30年4月＞	専	教授	みやぎ さい 宮木 幸一 (43) ＜平成30年4月＞	専	教授	みやぎ さい 宮木 幸一 (44) ＜平成30年4月＞
		疫学概論 環境保健学概論 疫学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)			疫学概論 環境保健学概論 疫学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)			疫学概論 環境保健学概論 疫学各論 産業保健学 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
			専	教授	なか しみづ 中尾 睦宏 (52) ＜平成30年4月＞	専	教授	なか しみづ 中尾 睦宏 (53) ＜平成30年4月＞
					社会行動科学概論 社会行動科学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)			社会行動科学概論 社会行動科学各論 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)
			専	教授	いしか べんじやみんこう 石川 べんじやみん光一 (50) ＜平成30年4月＞	専	教授	いしか べんじやみんこう 石川 べんじやみん光一 (51) ＜平成30年4月＞
					医療管理学概論 医療福祉経営学各論 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)			医療管理学概論 医療福祉経営学各論 医療福祉データサイエンス概論 医療福祉データサイエンス各論 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専任	准教授	<p>カワ トオ 小川 俊夫 (52) <平成30年4月></p> <p>医療経済学概論 国際保健学概論 国際保健学各論 国際機関論 医療経営学入門 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)</p>
専任	准教授	<p>ガツ ラントウ ロジャー Ngatu Nlandu Roger (51) <平成30年4月></p> <p>国際保健学概論 国際保健学各論 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)</p>
兼任	教授	<p>ムツ マサキ 武藤 正樹 (69) <平成30年4月></p> <p>医療管理学概論 医療福祉政策学各論 医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療の質とリスクマネジメント 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専任	教授	<p>ワカ コウジ 和田 耕治 (43) <平成30年4月></p> <p>環境保健学概論 社会医学各論 産業保健学</p> <p>疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)</p>
専任	准教授	<p>カワ トオ 小川 俊夫 (52) <平成30年4月></p> <p>医療経済学概論 国際保健学概論 国際保健学各論 国際機関論 医療経営学入門 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)</p>
専任	准教授	<p>ガツ ラントウ ロジャー Ngatu Nlandu Roger (51) <平成30年4月></p> <p>国際保健学概論 国際保健学各論 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)</p>
兼任	教授	<p>ムツ マサキ 武藤 正樹 (69) <平成30年4月></p> <p>医療管理学概論 医療福祉政策学各論 医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療の質とリスクマネジメント 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専任	教授	<p>ワカ コウジ 和田 耕治 (44) <平成30年4月></p> <p>環境保健学概論 社会医学各論 産業保健学 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成) 疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成) 疫学・社会医学研究指導II(文献検索) 疫学・社会医学研究指導III(データ収集) 疫学・社会医学研究指導IV(データ分析) 疫学・社会医学研究指導V(論文作成)</p>
専任	准教授	<p>カワ トオ 小川 俊夫 (53) <平成30年4月></p> <p>医療経済学概論 国際保健学概論 国際保健学各論 国際機関論 医療経営学入門 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)</p>
専任	准教授	<p>ガツ ラントウ ロジャー Ngatu Nlandu Roger (52) <平成30年4月></p> <p>国際保健学概論 国際保健学各論 国際保健学研究指導I(研究計画作成) 国際保健学研究指導II(文献検索) 国際保健学研究指導III(データ収集) 国際保健学研究指導IV(データ分析) 国際保健学研究指導V(論文作成)</p>
兼任	教授	<p>ムツ マサキ 武藤 正樹 (70) <平成30年4月></p> <p>医療管理学概論 医療福祉政策学各論 医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療の質とリスクマネジメント 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)</p>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	教授	カハシ タイ 高橋 泰 (58) <平成30年4月>
		医療管理学概論 医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)
兼任	教授	ル トラン スグオアン Le Tran Ngoan (53) <平成30年4月>
		国際保健学各論 研究デザイン入門 研究デザイン演習
兼任	教授	アマノ タカヒロ 天野 隆弘 (73) <平成30年4月>
		医療倫理学概論
兼任	教授	マツタニ ユキ 松谷 有希雄 (68) <平成30年4月>
		医療福祉政策学各論
兼任	教授	カムラ シュウイチ 中村 秀一 (69) <平成30年4月>
		医療福祉政策学概論 医療経営学入門
兼任	教授	ヌエ ニエ オウ Nwe Nwe Oo (61) <平成30年4月>
		国際機関論
兼任	教授	カケチ ケンジ 亀口 憲治 (70) <平成30年4月>
		臨床心理学概論
兼任	教授	カシマ ハルオ 鹿島 晴雄 (72) <平成30年4月>
		臨床心理学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	教授	カハシ タイ 高橋 泰 (59) <平成30年4月>
		医療管理学概論 医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)
兼任	教授	ル トラン スグオアン Le Tran Ngoan (53) <平成30年4月>
		国際保健学各論 研究デザイン入門 研究デザイン演習
兼任	教授	アマノ タカヒロ 天野 隆弘 (74) <平成30年4月>
		医療倫理学概論
兼任	教授	マツタニ ユキ 松谷 有希雄 (68) <平成30年4月>
		医療福祉政策学各論
兼任	教授	カムラ シュウイチ 中村 秀一 (69) <平成30年4月>
		医療福祉政策学概論 医療経営学入門
兼任	教授	ヌエ ニエ オウ Nwe Nwe Oo (61) <平成30年4月>
		国際機関論
兼任	教授	カケチ ケンジ 亀口 憲治 (70) <平成30年4月>
		臨床心理学概論
兼任	教授	カシマ ハルオ 鹿島 晴雄 (72) <平成30年4月>
		臨床心理学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	教授	カハシ タイ 高橋 泰 (60) <平成30年4月>
		医療管理学概論 医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成) 医療福祉管理学研究指導II(文献検索) 医療福祉管理学研究指導III(データ収集) 医療福祉管理学研究指導IV(データ分析) 医療福祉管理学研究指導V(論文作成)
兼任	教授	ル トラン スグオアン Le Tran Ngoan (54) <平成30年4月>
		国際保健学各論 研究デザイン入門 研究デザイン演習
兼任	教授	アマノ タカヒロ 天野 隆弘 (75) <平成30年4月>
		医療倫理学概論
兼任	教授	マツタニ ユキ 松谷 有希雄 (69) <平成30年4月>
		医療福祉政策学各論
兼任	教授	カムラ シュウイチ 中村 秀一 (70) <平成30年4月>
		医療福祉政策学概論 医療経営学入門
兼任	教授	ヌエ ニエ オウ Nwe Nwe Oo (62) <平成30年4月>
		国際機関論
兼任	教授	カケチ ケンジ 亀口 憲治 (71) <平成30年4月>
		臨床心理学概論
兼任	教授	カシマ ハルオ 鹿島 晴雄 (73) <平成30年4月>
		臨床心理学概論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	ムカミ マサ 村上 正人 (68) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	ムカミ マサ 村上 正人 (68) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	ムカミ マサ 村上 正人 (69) ＜平成30年4月＞
		臨床心理学概論			臨床心理学概論			臨床心理学概論
兼担	教授	イケダ (イノ) ケイコ 池田(飯野)啓子 (55) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	イケダ (イノ) ケイコ 池田(飯野)啓子 (55) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	イケダ (イノ) ケイコ 池田(飯野)啓子 (56) ＜平成30年4月＞
		医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)
兼担	教授	オカモト ヒデヒコ 岡本 秀彦 (43) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	オカモト ヒデヒコ 岡本 秀彦 (43) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	オカモト ヒデヒコ 岡本 秀彦 (44) ＜平成30年4月＞
		医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)
兼担	教授	キタガワ モチオ 北川 元生 (56) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	キタガワ モチオ 北川 元生 (56) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	キタガワ モチオ 北川 元生 (57) ＜平成30年4月＞
		医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)
兼担	教授	コボリ ヒロユキ 小堀 浩幸 (53) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	コボリ ヒロユキ 小堀 浩幸 (53) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	コボリ ヒロユキ 小堀 浩幸 (55) ＜平成30年4月＞
		医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)
兼担	教授	モリタ リンペイ 森田 林平 (49) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	モリタ リンペイ 森田 林平 (49) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	モリタ リンペイ 森田 林平 (50) ＜平成30年4月＞
		医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)
兼担	教授	ヤマダ テツシ 山田 哲司 (61) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	ヤマダ テツシ 山田 哲司 (61) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	ヤマダ テツシ 山田 哲司 (62) ＜平成30年4月＞
		医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)
兼担	教授	ニシムラ ワタル 西村 渉 (50) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	ニシムラ ワタル 西村 渉 (50) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	ニシムラ ワタル 西村 渉 (51) ＜平成30年4月＞
		医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)
兼担	教授	コカ ジュン 小阪 淳 (54) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	コカ ジュン 小阪 淳 (54) ＜平成30年4月＞	兼担	教授	コカ ジュン 小阪 淳 (55) ＜平成30年4月＞
		医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)			医学概論 I (基礎医学)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	トイ ヤスヲ 森 泰文 (47) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	トミタ ヤスヒコ 富田 裕彦 (56) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	フカザワ リュウジ 福澤 龍二 (54) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	シロミ カズキ 潮見 隆之 (45) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	ヤマ ヲシキ 矢島 大介 (49) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	エビノマ ヒロシ 海老沼 浩利 (50) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	カムラ アキラ 河村 朗夫 (48) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	タケト ミル 竹本 稔 (51) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ワサダ ナツキ 鷺田 直樹 (46) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	トイ ヤスヲ 森 泰文 (47) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	トミタ ヤスヒコ 富田 裕彦 (56) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	フカザワ リュウジ 福澤 龍二 (54) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	シロミ カズキ 潮見 隆之 (45) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	ヤマ ヲシキ 矢島 大介 (49) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	エビノマ ヒロシ 海老沼 浩利 (50) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	カムラ アキラ 河村 朗夫 (48) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	タケト ミル 竹本 稔 (51) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ワサダ ナツキ 鷺田 直樹 (46) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	トイ ヤスヲ 森 泰文 (48) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	トミタ ヤスヒコ 富田 裕彦 (57) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	フカザワ リュウジ 福澤 龍二 (55) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	シロミ カズキ 潮見 隆之 (46) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	ヤマ ヲシキ 矢島 大介 (50) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ(基礎医学)
兼任	教授	エビノマ ヒロシ 海老沼 浩利 (51) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	カムラ アキラ 河村 朗夫 (49) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	タケト ミル 竹本 稔 (52) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ワサダ ナツキ 鷺田 直樹 (47) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ(臨床医学)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	ツマ ケンジ 津島 健司 (51) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ナカゴ チキ 中世古 知昭 (55) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ムライ ヒロキ 村井 弘之 (55) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ヒロセ コウイチ 廣瀬 晃一 (49) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ミザキ ジュン 宮崎 淳 (49) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	イシ ケン 石井 賢 (49) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	タナカ ヒロキ 田中 宏一 (53) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ウスイ トモヒコ 臼井 智彦 (48) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	オカノ ミチホ 岡野 光博 (53) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	ツマ ケンジ 津島 健司 (51) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ナカゴ チキ 中世古 知昭 (55) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ムライ ヒロキ 村井 弘之 (55) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ヒロセ コウイチ 廣瀬 晃一 (49) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ミザキ ジュン 宮崎 淳 (49) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	イシ ケン 石井 賢 (49) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	タナカ ヒロキ 田中 宏一 (53) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ウスイ トモヒコ 臼井 智彦 (48) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	オカノ ミチホ 岡野 光博 (53) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	ツマ ケンジ 津島 健司 (52) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ナカゴ チキ 中世古 知昭 (56) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ムライ ヒロキ 村井 弘之 (56) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ヒロセ コウイチ 廣瀬 晃一 (50) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ミザキ ジュン 宮崎 淳 (50) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	イシ ケン 石井 賢 (50) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	タナカ ヒロキ 田中 宏一 (54) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	ウスイ トモヒコ 臼井 智彦 (49) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)
兼任	教授	オカノ ミチホ 岡野 光博 (54) ＜平成30年4月＞
		医学概論Ⅱ(臨床医学)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	カガヤ マコト 菅谷 誠 (47) <平成30年4月>	兼任	教授	カガヤ マコト 菅谷 誠 (47) <平成30年4月>	兼任	教授	カガヤ マコト 菅谷 誠 (48) <平成30年4月>
		医学概論Ⅱ (臨床医学)			医学概論Ⅱ (臨床医学)			医学概論Ⅱ (臨床医学)
兼任	特任 教授	イイカキ キイチロウ 飯長 喜一郎 (72) <平成30年4月>	兼任	特任 教授	イイカキ キイチロウ 飯長 喜一郎 (72) <平成30年4月>	兼任	特任 教授	イイカキ キイチロウ 飯長 喜一郎 (73) <平成30年4月>
		臨床心理学概論			臨床心理学概論			臨床心理学概論
兼任	准教授	シハラ ノブオ 篠原 信夫 (44) <平成30年4月>	兼任	准教授	シハラ ノブオ 篠原 信夫 (44) <平成30年4月>	兼任	准教授	シハラ ノブオ 篠原 信夫 (45) <平成30年4月>
		医療情報システム概論			医療情報システム概論			医療情報システム概論 医療福祉データサイエンス概論 医療福祉データサイエンス各論
兼任	准教授	オノデラ アツシ 小野寺 敦志 (54) <平成30年4月>	兼任	准教授	オノデラ アツシ 小野寺 敦志 (54) <平成30年4月>	兼任	准教授	オノデラ アツシ 小野寺 敦志 (55) <平成30年4月>
		臨床心理学概論 心理学研究法概論			臨床心理学概論 心理学研究法概論			臨床心理学概論 心理学研究法概論
兼任	准教授	ハタノ シゲユキ 波田野 茂幸 (50) <平成30年4月>	兼任	准教授	ハタノ シゲユキ 波田野 茂幸 (50) <平成30年4月>	兼任	准教授	ハタノ シゲユキ 波田野 茂幸 (51) <平成30年4月>
		臨床心理学概論			臨床心理学概論			臨床心理学概論
兼任	准教授	ハタタ シュウゴ 小畠 秀吾 (47) <平成30年4月>	兼任	准教授	ハタタ シュウゴ 小畠 秀吾 (47) <平成30年4月>	兼任	准教授	ハタタ シュウゴ 小畠 秀吾 (48) <平成30年4月>
		臨床心理学概論			臨床心理学概論			臨床心理学概論
兼任	准教授	シライ アカミ 白井 明美 (51) <平成30年4月>	兼任	准教授	シライ アカミ 白井 明美 (51) <平成30年4月>	兼任	准教授	シライ アカミ 白井 明美 (52) <平成30年4月>
		臨床心理学概論			臨床心理学概論			臨床心理学概論
兼任	准教授	カガシ キョウタロウ 川岸 久太郎 (46) <平成30年4月>	兼任	准教授	カガシ キョウタロウ 川岸 久太郎 (46) <平成30年4月>	兼任	准教授	カガシ キョウタロウ 川岸 久太郎 (47) <平成30年4月>
		医学概論Ⅰ (基礎医学)			医学概論Ⅰ (基礎医学)			医学概論Ⅰ (基礎医学)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教授	かみう せけ 岡村 世里奈 (47) <平成30年4月>	兼担	准教授	かみう せけ 岡村 世里奈 (47) <平成30年4月>	兼担	准教授	かみう せけ 岡村 世里奈 (48) <平成30年4月>
		医療における法と倫理			医療における法と倫理			医療における法と倫理
兼担	准教授	はねだ ｱｷヒロ 羽田 明浩 (55) <平成30年4月>	兼担	准教授	はねだ ｱｷヒロ 羽田 明浩 (55) <平成30年4月>	兼担	准教授	はねだ ｱｷヒロ 羽田 明浩 (56) <平成30年4月>
		医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療経営戦略論			医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療経営戦略論			医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療経営戦略論
兼担	准教授	ｱﾝべ ｶｽﾞヒロ 安部 和彦 (50) <平成30年4月>	兼担	准教授	ｱﾝべ ｶｽﾞヒロ 安部 和彦 (50) <平成30年4月>	兼担	准教授	ｱﾝべ ｶｽﾞヒロ 安部 和彦 (51) <平成30年4月>
		財務会計論 管理会計論 医療福祉と税法			財務会計論 管理会計論 医療福祉と税法			財務会計論 管理会計論 医療福祉と税法
兼担	講師	ｻｶﾞﾁ ﾋﾛﾏｻ 阪口 博政 (42) <平成30年4月>	兼担	講師	ｻｶﾞﾁ ﾋﾛﾏｻ 阪口 博政 (42) <平成30年4月>	兼担	講師	ｻｶﾞﾁ ﾋﾛﾏｻ 阪口 博政 (43) <平成30年4月>
		医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療マーケティング論 研究デザイン入門 研究デザイン演習			医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療マーケティング論 研究デザイン入門 研究デザイン演習			医療経営学入門 医療福祉経営学各論 医療マーケティング論 研究デザイン入門 研究デザイン演習
兼担	講師	ｲﾉ ﾏﾙ 磯野 真穂 (41) <平成30年4月>	兼担	講師	ｲﾉ ﾏﾙ 磯野 真穂 (41) <平成30年4月>	兼担	講師	ｲﾉ ﾏﾙ 磯野 真穂 (42) <平成30年4月>
		医療人類学 質的研究法概論 研究デザイン入門 研究デザイン演習			医療人類学 質的研究法概論 研究デザイン入門 研究デザイン演習			医療人類学 質的研究法概論 研究デザイン入門 研究デザイン演習

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年4月山崎力教授就任。予定より1年早いため、平成30年開講科目について、平成30年1月教員審査済み。
- ・平成30年4月石川ベンジャミン光一教授就任。平成30年1月教員審査済み。
- ・平成30年4月中尾睦宏教授就任。平成30年1月教員審査済み。
- ・平成30年4月和田耕治教授就任。平成30年1月教員審査済み。
- ・平成30年4月着任予定横山和仁教授の着任が平成31年4月に変更。

【令和元年度】

- ・平成30年7月山田哲司教授が自己都合により退任（兼担）。後任選定中。
- ・平成31年3月小堀浩幸教授が自己都合により退任（兼担）。後任選定中。
- ・平成31年3月波田野茂幸准教授が自己都合により退任（兼担）。後任選定中。
- ・平成31年3月阪口博政講師が自己都合により退任（兼担）。後任選定中。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	—	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
16	2	0	0	18	18	2	0	0	20
(15)	(2)	(0)	(0)	(17)	[2]	[0]	[0]	[0]	[2]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
18	0	0			20	0	0		
(17)	(0)	(0)			[2]	[0]	[0]		
現在（報告書提出時）の完成年度時の計画					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
18	2	0	0	20	18	2	0	0	20
[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[2]	[0]	[0]	[0]	[2]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
20	0	0			20	0	0		
[2]	[0]	[0]			[2]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{20}{18} = \boxed{111.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{2}{20} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	横山 和仁	H30.4	必修	疫学概論	②	前任地での業務の都合により就任延期（30） ※平成31年4月着任済み						
				必修	環境保健学概論	①							
				選択	疫学各論	②							
				選択	社会医学各論	①							
				選択	産業保健学	①							
				選択	疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成)	①							
				選択	疫学・社会医学研究指導II(文献検索)	①							
				選択	疫学・社会医学研究指導III(データ収集)	①							
				選択	疫学・社会医学研究指導IV(データ分析)	①							
選択	疫学・社会医学研究指導V(論文作成)	①											
2	教授	宮木 幸一	H30.4	必修	疫学概論	②	一身上の都合により平成30年3月31日付退職のため就任辞退（30）						
				必修	環境保健学概論	①							
				選択	疫学各論	②							
				選択	産業保健学	①							
				選択	疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成)	①							
				選択	疫学・社会医学研究指導II(文献検索)	①							
				選択	疫学・社会医学研究指導III(データ収集)	①							
				選択	疫学・社会医学研究指導IV(データ分析)	①							
				選択	疫学・社会医学研究指導V(論文作成)	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
2	人	必修	4	科目	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	12	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	14	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1		該当者なし											
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
2	人	必修	4	科目	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	12	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	14	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{18} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当者なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

開設前に自己都合退職1名及び就任遅延1名が発生している。この事態に対し、就任前倒し1名、専任教員新規採用3名(3名とも教授)で対応し、教育上の支障はなかった。
また、開設前の辞退のため、学生への周知は特に行わなかった。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (30年4月)	特になし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学研究科公衆衛生学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特に変更は見当たらない	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
研究科管理運営委員会、研究科会議、FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
研究科管理運営委員会（研究科長、専攻主任、分野責任者、教務担当者等）週1回
研究科会議（研究科長、専攻主任、分野責任者、研究指導教員）月1回
FD委員会（FD委員）FD開催にあわせて実施

c 委員会の審議事項等
研究科管理運営委員会（研究科運営に関する重要事項全般）
研究科会議（研究科運営に関する重要事項の情報共有、入学者選考等）
FD委員会（FDの企画案）

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 医学専攻研究指導教員を対象としたFD（5/29実施予定）
- ・ 大学院教員全員を対象としたFD（毎月）
- ・ 医学専攻・公衆衛生学専攻研究指導教員を対象としたFD（8月実施予定）

b 実施方法

- ・ 遠隔テレビ会議システムも使用したプレゼンテーション及び質疑応答

c 開催状況（教員の参加状況含む）
原則として全員参加（不参加の場合は理由が必要）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
履修ガイドの作成、院生アンケートを実施

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
実施予定（前期・後期）

b 教員や学生への公開状況、方法等
各教員へは集計結果をフィードバック。学生はホームページなどで集計結果を公開予定。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

昨年4月に開設した、医学研究科公衆衛生学専攻（修士課程）は、前年度に開設した医学部医学科及び同時に開設した医学専攻（博士課程）とも連携し、現代の公衆衛生上のニーズに適合し、国際的に活躍できる公衆衛生の専門家の養成を実現することを目的として掲げ、設置したものである。

昨年4月入学の第1期生の募集に当たっては、入学定員10名に対し、多くの志願者があり、最終的には、外国人3名を含む14名の入学者（転研究科生も入れると15名）を迎えることができ、優秀な人材を確保できた。本年度も、外国人3名を含む14名の入学者を迎え、研究報告会やゼミにおける研究報告にこれらの多様性が反映され、非常に活気があるものとなっている。

今後設置計画を着実に履行するとともに、施設、設備等の充実を図り、保健・医療・福祉分野における、優れた人材を養成していきたい。

また、同じく昨年4月に開設した、医学研究科医学専攻（博士課程）は、前年度に開設した医学部医学科及び同時に開設した公衆衛生学専攻（修士課程）と連携し、優れた医学研究者及び優れた医学研究能力を備えた高度専門職業人の養成を目的として、設置したものである。

本年4月入学の第1期生の募集に当たっては、入学定員20名に対し、多くの志願者があり、最終的には、外国人3名を含む25名の入学者（転研究科生も入れると26名）、本年度は19名（転入学者も入れると20名）の入学者を迎えることができ、優秀な人材を確保できていると考えている。

今後設置計画を着実に履行するとともに、施設、設備及び研究支援体制等の充実を図り、医学分野における、優れた人材を養成していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学は2年に一度自己点検評価を行うとともに、平成19年度および平成26年度には公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、適格評価を得た。

最新では、平成29年度に大学全体で3ポリシーと国際交流のさらなる進展などをテーマに自己点検評価を行い、本年6月中旬に公表することとしている。次期自己点検評価時に新学部（新大学院）を含めた内容で実施する予定である。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 5 月 31 日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学大学院医学研究科医学専攻博士課程

(3) 大学の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4丁目3番

(〒324-8501)

(栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)		
大学院長	(アマノ タカヒロ) 天野 隆弘 (平成27年1月)	(ミウラ ソウイチロウ) 三浦 総一郎 (平成29年6月)	任期満了のため大学院長交替 (30)
専攻主任	(ツジ ショウジ) 辻 省次 (平成30年4月)		

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
医学研究科 医学専攻 (博士課程) 博士（医学）	医学関係	4年	20人	年次人	80人	基礎となる学部等 医学部医学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	20人 () [-]	人	20人 () [-]	人	人 () [-]	人	人 () [-]	人	1.1倍	-	※1 入学者25名のほか、1名転研究科生あり ※2 転入学希望者1名を含む
志願者数	25 () [1]	() []	19※2 (1) [-]	() []	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
受験者数	25 () [1]	() []	19 (1) [-]	() []	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
合格者数	25 () [1]	() []	19 (1) [-]	() []	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
B 入学者数	25※1 () [1]	() []	19 (1) [-]	() []	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.25		0.95		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	26 [1]	— [—]	20 [—]	— [—]	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	※ 平成30年度は入学者25名のほか、1名 転研究科生あり ※ 令和元年度は転入学希望者1名あり
2年次			26 [1] (—)	— [—] (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	
計	26 [1] (—)		46 [1] (—)		— [—] (—)		— [—] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	26 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	46 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{46} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学研究科 医学専攻博士課程>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医学研究特論	1~4	2			6						3
	医学特別研究	1~4	18			75						
基礎医学研究分野	生理学特論	1~4		10		2						
	生化学特論	1~4		10		1						
	薬理学特論	1~4		10		1						
	免疫学特論	1~4		10		1						
	分子生物学特論	1~4		10		2						
	解剖学特論	1~4		10		2	1					
	病理学特論	1~4		10		3						
社会医学研究分野	法医学特論	1~4		10		1						
	感染症学特論	1~4		10		3						
	公衆衛生学特論	1~4		10		5	1					
	医学教育学特論	1~4		10		8						3
臨床医学研究分野	呼吸器内科学特論	1~4		10		2						
	呼吸器外科学特論	1~4		10		1						
	循環器内科学特論	1~4		10		3						2
	心臓外科学特論	1~4		10		1						
	血管外科学特論	1~4		10		2						
	消化器内科学特論	1~4		10		4						
	消化器外科学特論	1~4		10		4						
	腎臓内科学特論	1~4		10		3						2
	泌尿器科学特論	1~4		10		2						
	糖尿病・代謝・内分泌学特論	1~4		10		1						
	産婦人科学特論	1~4		10		6						
	乳腺外科学特論	1~4		10		1						
小児科学特論	1~4		10		2							

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医学研究特論	1~4	2			6	4					3
	医学特別研究	1~4	18			77	80					
基礎医学研究分野	生理学特論	1~4		10		2						
	生化学特論	1~4		10		1						
	薬理学特論	1~4		10		1	0					0
	免疫学特論	1~4		10		1						
	分子生物学特論	1~4		10		2	1					
	解剖学特論	1~4		10		2	1					
	病理学特論	1~4		10		3	4					
遺伝医学特論	1~4		10		1							
社会医学研究分野	法医学特論	1~4		10		1						
	感染症学特論	1~4		10		3						
	公衆衛生学特論	1~4		10		5	7	1				
	医学教育学特論	1~4		10		7	5					3
臨床医学研究分野	呼吸器内科学特論	1~4		10		2						
	呼吸器外科学特論	1~4		10		1						
	循環器内科学特論	1~4		10		3						2
	心臓外科学特論	1~4		10		1						
	血管外科学特論	1~4		10		2						
	消化器内科学特論	1~4		10		6						
	消化器外科学特論	1~4		10		4						
	腎臓内科学特論	1~4		10		3						2
	泌尿器科学特論	1~4		10		2						
	糖尿病・代謝・内分泌学特論	1~4		10		1						
	産婦人科学特論	1~4		10		6						
	乳腺外科学特論	1~4		10		1						
小児科学特論	1~4		10		2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床医学研究分野	小児外科学特論	1~4		10		1						
	整形外科特論	1~4		10		2						
	皮膚科学特論	1~4		10		1						
	リウマチ・膠原病学特論	1~4		10		2						
	形成外科学特論	1~4		10		1						
	リハビリテーション医学特論	1~4		10		1						
	神経内科学特論	1~4		10		6						
	精神科学特論	1~4		10		1	1					
	脳神経外科学特論	1~4		10		2						
	眼科学特論	1~4		10		4						
	耳鼻咽喉科学特論	1~4		10		3						
	血液内科学特論	1~4		10		3						
	臨床腫瘍学特論	1~4		10		2						
	総合診療学特論	1~4		10		1						
	心療内科学特論	1~4		10		1						
	老年病学特論	1~4		10		2						
麻酔科学特論	1~4		10		1							
救急医学特論	1~4		10		1							
放射線科学特論	1~4		10		5							
臨床検査医学特論	1~4		10		2							
分野横断コース	医療システム学特論	1・2・3・4			2		1					
	国際医療協力学特論	1・2・3・4			2		2					
	感染症疫学特論	1・2・3・4			2		4					
	国際感染症学特論	1・2・3・4			2		4					
	医療政策学特論	1・2・3・4			2		1	1				2
	医学教育技法特論	1・2・3・4			1		8					3
	シミュレーション医学教育技法特論	1・2・3・4			1		8					3
	臨床医学教育技法特論	1・2・3・4			1		8					3
医学教育専門家特論	1・2・3・4			1		8					3	
合計(55科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修 20 単位、選択科目 10 単位の計 30 単位以上修得し、博士学位論文の審査に合格すること												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床医学研究分野	小児外科学特論	1~4		10		1						
	整形外科特論	1~4		10		2						
	皮膚科学特論	1~4		10		1						
	リウマチ・膠原病学特論	1~4		10		2						
	形成外科学特論	1~4		10		1						
	リハビリテーション医学特論	1~4		10		1						
	神経内科学特論	1~4		10		6						
	精神科学特論	1~4		10		1	1					
	脳神経外科学特論	1~4		10		2						
	眼科学特論	1~4		10		4						
	耳鼻咽喉科学特論	1~4		10		3						
	血液内科学特論	1~4		10		3						
	臨床腫瘍学特論	1~4		10		2						
	総合診療学特論	1~4		10		1						
	心療内科学特論	1~4		10		1						
	老年病学特論	1~4		10		2						
麻酔科学特論	1~4		10		1							
救急医学特論	1~4		10		1							
放射線科学特論	1~4		10		5							
臨床検査医学特論	1~4		10		2							
分野横断コース	医療システム学特論	1・2・3・4			2		0	2	1			
	国際医療協力学特論	1・2・3・4			2		0	1	2			
	感染症疫学特論	1・2・3・4			2		4					
	国際感染症学特論	1・2・3・4			2		4	5				
	医療政策学特論	1・2・3・4			2		1	3	1			2
	医学教育技法特論	1・2・3・4			1		8	6				3
	シミュレーション医学教育技法特論	1・2・3・4			1		8	6				3
	臨床医学教育技法特論	1・2・3・4			1		8	6				3
医学教育専門家特論	1・2・3・4			1		8	6				3	
合計(56科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修 20 単位、選択科目 10 単位の計 30 単位以上修得し、博士学位論文の審査に合格すること												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医学研究特論	1~4	2			6						3
	医学特別研究	1~4	18			77						
基礎医学研究分野	生理学特論	1~4		10		2						
	生化学特論	1~4		10		1						
	薬理学特論	1~4		10		1						
	免疫学特論	1~4		10		1						
	分子生物学特論	1~4		10		2						
	解剖学特論	1~4		10		2	1					
	病理学特論	1~4		10		3						
社会医学研究分野	法医学特論	1~4		10		1						
	感染症学特論	1~4		10		3						
	公衆衛生学特論	1~4		10		6	1					
	医学教育学特論	1~4		10		7						3
臨床医学研究分野	呼吸器内科学特論	1~4		10		2						
	呼吸器外科学特論	1~4		10		1						
	循環器内科学特論	1~4		10		3						2
	心臓外科学特論	1~4		10		1						
	血管外科学特論	1~4		10		2						
	消化器内科学特論	1~4		10		6						
	消化器外科学特論	1~4		10		4						
	腎臓内科学特論	1~4		10		3						2
	泌尿器科学特論	1~4		10		2						
	糖尿病・代謝・内分泌学特論	1~4		10		1						
	産婦人科学特論	1~4		10		6						
	乳腺外科学特論	1~4		10		1						
	小児科学特論	1~4		10		2						
	小児外科学特論	1~4		10		1						
	整形外科特論	1~4		10		2						
	皮膚科学特論	1~4		10		1						
	リウマチ・膠原病学特論	1~4		10		2						
	形成外科学特論	1~4		10		1						
	リハビリテーション医学特論	1~4		10		1						
	神経内科学特論	1~4		10		6						
研究分野	精神科学特論	1~4		10		1	1					
	脳神経外科学特論	1~4		10		2						
	眼科学特論	1~4		10		4						
	耳鼻咽喉科学特論	1~4		10		3						
	血液内科学特論	1~4		10		3						
	臨床腫瘍学特論	1~4		10		2						
	総合診療学特論	1~4		10		1						
心療内科学特論	1~4		10		1							

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床 医学 研 究 分 野	老年病学特論	1～4		10		2						
	麻酔科学特論	1～4		10		1						
	救急医学特論	1～4		10		1						
	放射線科学特論	1～4		10		5						
	臨床検査医学 特論	1～4		10		2						
分 野 横 断 コ ー ス	医療システム学特 論	1・2・3・4			2		1					
	国際医療協力学 特論	1・2・3・4			2		2					
	感染症疫学特論	1・2・3・4			2	4						
	国際感染症学特 論	1・2・3・4			2	4						
	医療政策学特論	1・2・3・4			2	1	1					2
	医学教育技法特 論	1・2・3・4			1	8						3
	シミュレーション医 学教育技法特論	1・2・3・4			1	8						3
	臨床医学教育技 法特論	1・2・3・4			1	8						3
	医学教育専門家 特論	1・2・3・4			1	8						3
合計(55科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修 20 単位、選択科目 10 単位の計 30 単位以上修得し、博士学位論文の審査に合格すること												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・専任教員の新規着任により、「医学特別研究」の専任教員等の配置を「専任 教授75」から「専任 教授 79」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「公衆衛生学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授5」から「専任 教授 6」に変更。
- ・申請時のカウントミスにより、「医学教育学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授8」から「専任 教授 7」に改める。
- ・申請時のカウントミス1名、及び専任教員の新規着任1名により、「消化器内科学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授4」から「専任 教授 6」に改める。

【令和元年度】

- ・担当教員の退職により、「医学研究特論」の専任教員等の配置を「専任 教授6 兼担3」から「専任 教授4 兼担3」に変更。
- ・専任教員の新規着任及び専任教員の担当変更により「専任 教授77」から「専任 教授80」に変更。
- ・担当教員の退職により「薬理学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授1」から「兼担1」に変更（後任である兼担教員については、今後教員審査受審の予定である）。
- ・担当教員の退職により「分子生物学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授2」から「専任 教授1」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「病理学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授3」から「専任 教授 4」に変更。
- ・教員の専門性をより発揮するため、「遺伝医学特論」を新設、4年通年開講、10単位で、教員等の配置は「専任 教授1」である。
- ・専任教員の新規着任により、「公衆衛生学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授6」から「専任 教授 7 准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「医学教育学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授7」から「専任 教授 5」に改める（なお、「兼担 3」の誤記を訂正）。
- ・専任教員の新規着任により、「医療システム学特論」の専任教員等の配置を「専任 准教授1」から「専任 教授2 准教授1」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「国際医療協力学特論」の専任教員等の配置を「専任 准教授2」から「専任 教授1 准教授2」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「国際感染症学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授4」から「専任 教授5」に変更。
- ・専任教員の新規着任により、「医療政策学特論」の専任教員等の配置を「専任 教授1 准教授1 兼担2」から「専任 教授3 准教授1 兼担2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「医学教育技法特論」の専任教員等の配置を「専任 教授8 兼担3」から「専任 教授6 兼担3」に変更。
- ・担当教員の退職により、「シミュレーション医学教育技法特論」の専任教員等の配置を「専任 教授8 兼担3」から「専任 教授6 兼担3」に変更。
- ・担当教員の退職により、「臨床医学教育技法特論」の専任教員等の配置を「専任 教授8 兼担3」から「専任 教授6 兼担3」に変更。
- ・担当教員の退職により、「医学教育専門家特論」の専任教員等の配置を「専任 教授8 兼担3」から「専任 教授6 兼担3」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	44 科目	9 科目	55 科目	2 科目 [0]	45 科目 [1]	9 科目 [0]	56 科目 [1]	専任教員の専門性を活用するため、「遺伝医学特論」と令和元年度に新規開講

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{56} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 ■校舎敷地：借用面積 69,019㎡、期間30年 ■運動場用地：①借用 面積3,557㎡、期間5年 間（道路占用許可。そ の後、順次更新）②借用 面積5,659㎡、期間30年 ③借用面積11,944㎡、 期間30年 校舎敷地に国際医療 福祉大学市川病院を 追加（H29.9.1事業承 継）（30）			
	校 舎 敷 地	276,538 ㎡ 269,519 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	276,538 ㎡ 269,519 ㎡				
	運 動 場 用 地	100,751 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	100,751 ㎡				
	小 計	377,289 ㎡ 320,270 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	377,289 ㎡ 320,270 ㎡				
	そ の 他	113,975 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	113,975 ㎡				
	合 計	491,264 ㎡ 484,245 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	491,264 ㎡ 484,245 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	212,896 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	212,896 ㎡	大学全体 ■借用面積25,826㎡、 期間20年			
	(178,828 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(178,828 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	205 室	演 習 室 186 室	実験実習室 316 室	情報処理学習施設 23 室 (補助職員 8 人)	語学学習施設 10 室 (補助職員 0 人)	大学全体		
	新設学部等の名称	医学研究科		室 数 355 室					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数				医学部・大学院		
		医学研究科		355 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	医学部医学研究科共通	
	国際医療福祉 大学大学院 医学研究科	17,265 [5,348] (8,138 [3,144])	219 [0] (100 [4])	7,173 [5,732] (6,608 [5,278])	0 (0)	27,811 (15,589)	108 (57)		
	計	17,265 [5,348] (8,138 [3,144])	219 [0] (100 [4])	7,173 [5,732] (6,608 [5,278])	0 (0)	27,811 (15,589)	108 (57)		
(6) 図 書 館	面 積	8,564 ㎡		閱 覧 座 席 数	1,853 席		収 納 可 能 冊 数	大学全体	
							367,360 冊		
(7) 体 育 館	面 積	7,465 ㎡		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要			大学全体		
					弓道場			テニスコート	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究科全体
		教員1人当り研究費等	400 千円	400 千円	図書購入費	45,262 千円	3,000 千円	3,000 千円	
	共同研究費等	3,000 千円	3,000 千円	設備購入費	15,398 千円	1,500 千円	1,500 千円	研究科全体	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		900 千円	700 千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
医学部	6	140	-	840	-	1.00	-	平成29年度	-	
医学科	6	140	-	840	学士 (医学)	1.00	-	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番	
保健医療学部	4	545	-	2,180	-	0.98	-	平成7年度	-	
看護学科	4	115	-	460	学士 (看護学)	0.97	-	平成7年度	栃木県大田原市北金丸 2600番1	
理学療法学科	4	100	-	400	学士 (理学療法 学)	0.98	-	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法 学)	0.96	-	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚 学)	1.01	-	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	50	-	200	学士 (視機能療法 学)	0.98	-	平成14年度	同上	
放射線 ・情報科学科	4	120	-	480	学士 (放射線・情報 科学)	1.00	-	平成7年度	同上	
医療福祉学部	4	140	5	570	-	0.96	-	平成9年度	-	
医療福祉・マシ ント学科	4	140	5	570	学士 (医療福祉 学) 学士 (医療マシ ント学)	0.96	-	平成9年度	同上	
薬学部	6	180	-	1,080	-	1.07	-	平成18年度	-	
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.07	-	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-	1.05	-	平成18年度	-	
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	-	平成18年度	神奈川県小田原市城山一 丁目2番25号	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.04	-	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.04	-	平成18年度	同上	
福岡看護学部	4	100	-	400	-	1.09	-	平成20年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	-	平成20年度	福岡県福岡市早良区百道 浜1-7-4	
福岡保健医療学部	4	240	-	960	-	1.06	-	平成17年度	-	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	-	平成17年度	福岡県大川市榎津137-1	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.04	-	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.04	-	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.05	-	平成25年度	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地
成田看護学部	4	100	-	400	-	1.09	-	平成28年度	-
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番
成田保健医療学部	4	240	-	960	-	1.06	-	平成28年度	-
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	-	平成28年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.07	-	平成28年度	同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.04	-	平成28年度	同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.06	-	平成28年度	同上
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	4	120	-	480	-	1.05	-	平成30年度	-
心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.10	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1 -26
医療マネジメン ト学科	4	60	-	240	学士 (医療マナ ジメント学)	1.00	-	平成30年度	同上
大学全体	-	2,005	5	8,670	-	1.04	-	平成7年度	-

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開年度	設年度	所在地	
大学の名称	国際医療福祉大学大学院									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開年度	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	年度	
医療福祉学研究科 修士課程	2	235	-	470	-	1.56	-	平成11年度		-	
保健医療学専攻	2	160	-	320	修士 (保健医療学)	1.74	-	平成11年度		栃木県大田原市北金丸 2600番1	
					修士 (看護学)		-				
					修士 (助産学)		-				
					修士 (言語聴覚学)		-				
					修士 (生殖補助医療学)		-				
					修士 (医療福祉教育・管理学)		-				
					修士 (臨床検査学)		-				
					修士 (災害医療学)		-				
					修士 (遺伝カウンセリング学)		-				
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学)	1.44	-	平成13年度		同上	
					修士 (診療情報管理学)		-				
					修士 (医療ビジネス経営学)		-				
					修士 (医療福祉管理学)		-				
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)		-				
					修士 (自立支援介護学)		-				
					修士 (自立支援実践ケアマネジメント学)		-				

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開年度	所在地
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (医療福祉 ジャーナリズム 学)	-	-	平成19年度	同上
					修士 (医療通 訳・国際医 療マネジメント 学)	-	-		
					修士 (臨床心理 学)	-	-		
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	-	平成13年度	-	
保健医療学専攻	3	70	-	210	博士 (保健医療 学)	1.36	-	平成13年度	同上
					博士 (看護学)	-	-		
					博士 (助産学)	-	-		
					博士 (言語聴覚 学)	-	-		
					博士 (生殖補助 医療学)	-	-		
					博士 (臨床検査 学)	-	-		
					博士 (医療福祉 経営学)	-	-		
					博士 (医療福祉 学)	-	-		
					博士 (診療情報 管理学)	-	-		
					博士 (介護福祉・ ケアマネジメント 学)	-	-		
					博士 (臨床心理 学)	-	-		
					博士 (医療福祉 ジャーナリス ム学)	-	-		
					薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.10	-	平成22年度	同上

既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.55	-	平成24年度	-
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.55	-	平成24年度	同上
医学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	1.40	-	平成30年度	-
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生 学)	1.40	-	平成30年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.10	-	平成30年度	-
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.10	-	平成30年度	同上
大学院全体	-	345	-	810	-	1.01	-	平成11年度	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 医学専攻博士課程>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	学長 教授	材ト 妮 大友 邦 (63) <平成30年4月>
		医学特別研究 放射線科学特論
専	教授	ハケ キヒロ 晶 清彦 (64) <平成30年4月>
		医学特別研究 血液内科学特論
専	教授	ミヅキ ジュン 宮崎 淳 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 泌尿器科学特論
専	教授	イガ (イノ) ケイ 池田 (飯野) 啓子 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 生理学特論
専	教授	ヨシダ マヒロ 吉田 雅博 (60) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論
専	教授	材カシ タカ 大東 貴志 (58) <平成30年4月>
		泌尿器科学特論
専	教授	オカモト ヒロ 岡本 秀彦 (43) <平成30年4月>
		生理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	学長 教授	材ト 妮 大友 邦 (63) <平成30年4月>
		医学特別研究 放射線科学特論
専	教授	ハケ キヒロ 晶 清彦 (64) <平成30年4月>
		医学特別研究 血液内科学特論
専	教授	ミヅキ ジュン 宮崎 淳 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 泌尿器科学特論
専	教授	イガ (イノ) ケイ 池田 (飯野) 啓子 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 生理学特論
専	教授	ヨシダ マヒロ 吉田 雅博 (60) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論
専	教授	材カシ タカ 大東 貴志 (58) <平成30年4月>
		泌尿器科学特論
専	教授	オカモト ヒロ 岡本 秀彦 (43) <平成30年4月>
		生理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	学長 教授	材ト 妮 大友 邦 (64) <平成30年4月>
		医学特別研究 放射線科学特論
専	教授	ハケ キヒロ 晶 清彦 (64) <平成30年4月>
		医学特別研究 血液内科学特論
専	教授	ミヅキ ジュン 宮崎 淳 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 泌尿器科学特論
専	教授	イガ (イノ) ケイ 池田 (飯野) 啓子 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 生理学特論
専	教授	ヨシダ マヒロ 吉田 雅博 (61) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論
専	教授	材カシ タカ 大東 貴志 (59) <平成30年4月>
		泌尿器科学特論
専	教授	オカモト ヒロ 岡本 秀彦 (44) <平成30年4月>
		医学特別研究 生理学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	キカワモト 北川 元生 (56)
		<平成30年4月>
専	教授	コホリヒロキ 小堀 浩幸 (53)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 生化学特論
専	教授	モリノリハ 森田 林平 (49)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 免疫学特論
専	教授	ヤマダ テツシ 山田 哲司 (61)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 分子生物学特論 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ニシムラ ワタル 西村 渉 (50)
		<平成30年4月>
		分子生物学特論
専	教授	コカ ジュン 小阪 淳 (54)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 解剖学特論
専	教授	モリ ヤスヒ 森 泰文 (47)
		<平成30年4月>
		解剖学特論
専	教授	トミタ ヤスヒコ 富田 裕彦 (56)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 病理学特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	キカワモト 北川 元生 (56)
		<平成30年4月>
専	教授	コホリヒロキ 小堀 浩幸 (53)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 生化学特論
専	教授	モリノリハ 森田 林平 (49)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 免疫学特論
専	教授	ヤマダ テツシ 山田 哲司 (61)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 分子生物学特論 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ニシムラ ワタル 西村 渉 (50)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 分子生物学特論
専	教授	コカ ジュン 小阪 淳 (54)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 解剖学特論
専	教授	モリ ヤスヒ 森 泰文 (47)
		<平成30年4月>
		解剖学特論
専	教授	トミタ ヤスヒコ 富田 裕彦 (56)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 病理学特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	キカワモト 北川 元生 (57)
		<平成30年4月>
専	教授	コホリヒロキ 小堀 浩幸 (53)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 生化学特論
専	教授	モリノリハ 森田 林平 (50)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 免疫学特論
専	教授	ヤマダ テツシ 山田 哲司 (62)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 分子生物学特論 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ニシムラ ワタル 西村 渉 (51)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 分子生物学特論
専	教授	コカ ジュン 小阪 淳 (55)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 解剖学特論
専	教授	モリ ヤスヒ 森 泰文 (48)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 解剖学特論
専	教授	トミタ ヤスヒコ 富田 裕彦 (57)
		<平成30年4月>
		医学特別研究 病理学特論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	フガワ リュウジ 福澤 龍二 (54) <平成30年4月>
		医学特別研究 病理学特論
専	教授	シロミ カウキ 潮見 隆之 (45) <平成30年4月>
		医学特別研究 病理学特論
専	教授	ヤシマダ イサカ 矢島 大介 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 法医学特論
専	教授	マツモト テツヤ 松本 哲哉 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 感染症学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論
専	教授	ワタナベ ハルオ 渡邊 治雄 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 感染症学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論
専	教授	カノウ ケイキ 加藤 康幸 (48) <平成30年4月>
		感染症学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論
専	教授	ヤマザキ ツトム 山崎 力 (60) <平成31年4月>
		医学特別研究 公衆衛生学特論
専	教授	イケガ シュンヤ 池田 俊也 (55) <平成30年4月>
		医学研究特論 医学特別研究 公衆衛生学特論

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	フガワ リュウジ 福澤 龍二 (54) <平成30年4月>
		医学特別研究 病理学特論
専	教授	シロミ カウキ 潮見 隆之 (45) <平成30年4月>
		医学特別研究 病理学特論
専	教授	ヤシマダ イサカ 矢島 大介 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 法医学特論
専	教授	マツモト テツヤ 松本 哲哉 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 感染症学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論
専	教授	ワタナベ ハルオ 渡邊 治雄 (69) <平成30年4月>
		医学特別研究 感染症学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論
専	教授	カノウ ケイキ 加藤 康幸 (48) <平成30年4月>
		感染症学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論
専	教授	ヤマザキ ツトム 山崎 力 (59) <平成30年4月>
		医学特別研究 公衆衛生学特論
専	教授	イケガ シュンヤ 池田 俊也 (55) <平成30年4月>
		医学研究特論 医学特別研究 公衆衛生学特論

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	フガワ リュウジ 福澤 龍二 (54) <平成30年4月>
		医学特別研究 病理学特論
専	教授	シロミ カウキ 潮見 隆之 (46) <平成30年4月>
		医学特別研究 病理学特論
専	教授	ヤシマダ イサカ 矢島 大介 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 法医学特論
専	教授	マツモト テツヤ 松本 哲哉 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 感染症学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論
専	教授	ワタナベ ハルオ 渡邊 治雄 (70) <平成30年4月>
		医学特別研究 感染症学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論
専	教授	カノウ ケイキ 加藤 康幸 (49) <平成30年4月>
		感染症学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論
専	教授	ヤマザキ ツトム 山崎 力 (60) <平成30年4月>
		医学特別研究 公衆衛生学特論
専	教授	イケガ シュンヤ 池田 俊也 (56) <平成30年4月>
		医学研究特論 医学特別研究 公衆衛生学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	ミキ コウイチ 宮木 幸一 (43) <平成30年4月>
		医学特別研究 公衆衛生学特論
専	教授	サキノ ミコ 荻野 美恵子 (57) <平成30年4月>
		公衆衛生学特論 医療政策学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	サカイ リョウタ 桜井 亮太 (48) <平成30年4月>
		公衆衛生学特論
専	教授学部長	キムラ キヨシ 北村 聖 (64) <平成30年4月>
		医学研究特論 医学特別研究 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	イシカワ カズノブ 石川 和信 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 公衆衛生学特論 医学教育学特論 循環器内科学特論 老年病学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ヤシダ モトミ 吉田 素文 (55) <平成30年4月>
		医学研究特論 医学特別研究 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ヤノ (ゴミ) ハルミ 矢野 (五味) 晴美 (50) <平成30年4月>
		医学教育学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	ミキ コウイチ 宮木 幸一 (43) <平成30年4月>
		医学特別研究 公衆衛生学特論
専	教授	サキノ ミコ 荻野 美恵子 (57) <平成30年4月>
		公衆衛生学特論 医療政策学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	サカイ リョウタ 桜井 亮太 (48) <平成30年4月>
		公衆衛生学特論
専	教授学部長	キムラ キヨシ 北村 聖 (64) <平成30年4月>
		医学研究特論 医学特別研究 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	イシカワ カズノブ 石川 和信 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 公衆衛生学特論 医学教育学特論 循環器内科学特論 老年病学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ヤシダ モトミ 吉田 素文 (55) <平成30年4月>
		医学研究特論 医学特別研究 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ヤノ (ゴミ) ハルミ 矢野 (五味) 晴美 (50) <平成30年4月>
		医学教育学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	ミキ コウイチ 宮木 幸一 (44) <平成30年4月>
		医学特別研究 公衆衛生学特論
専	教授	サキノ ミコ 荻野 美恵子 (58) <平成30年4月>
		公衆衛生学特論 医療政策学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	サカイ リョウタ 桜井 亮太 (49) <平成30年4月>
		公衆衛生学特論
専	教授学部長	キムラ キヨシ 北村 聖 (65) <平成30年4月>
		医学研究特論 医学特別研究 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	イシカワ カズノブ 石川 和信 (57) <平成30年4月>
		医学特別研究 公衆衛生学特論 医学教育学特論 循環器内科学特論 老年病学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ヤシダ モトミ 吉田 素文 (56) <平成30年4月>
		医学研究特論 医学特別研究 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ヤノ (ゴミ) ハルミ 矢野 (五味) 晴美 (51) <平成30年4月>
		医学教育学特論 感染症疫学特論 国際感染症学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	教授	アカツ ハルコ 赤津 晴子 (56) 〈平成30年4月〉
		医学研究特論 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ツシマ ケンジ 津島 健司 (51) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 呼吸器内科学特論
専	教授	ハヤシ シイ子 林 真一郎 (62) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 呼吸器内科学特論
専	教授	ヨシダ シゲトシ 吉田 成利 (53) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 呼吸器外科学特論
専	教授	カムラ 朗夫 河村 朗夫 (49) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 循環器内科学特論
専	教授	カイ トシオ 永井 敏雄 (56) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 循環器内科学特論
専	教授	ナカムラ ヒロキ 仲村 輝也 (50) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 心臓外科学特論
専	教授	マツモト タカヤ 松本 拓也 (49) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 血管外科学特論

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	教授	アカツ ハルコ 赤津 晴子 (56) 〈平成30年4月〉
		医学研究特論 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ツシマ ケンジ 津島 健司 (51) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 呼吸器内科学特論
専	教授	ハヤシ シイ子 林 真一郎 (62) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 呼吸器内科学特論
専	教授	ヨシダ シゲトシ 吉田 成利 (53) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 呼吸器外科学特論
専	教授	カムラ 朗夫 河村 朗夫 (49) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 循環器内科学特論
専	教授	カイ トシオ 永井 敏雄 (56) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 循環器内科学特論
専	教授	ナカムラ ヒロキ 仲村 輝也 (50) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 心臓外科学特論
専	教授	マツモト タカヤ 松本 拓也 (49) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 血管外科学特論

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	教授	アカツ ハルコ 赤津 晴子 (57) 〈平成30年4月〉
		医学研究特論 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	ツシマ ケンジ 津島 健司 (52) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 呼吸器内科学特論
専	教授	ハヤシ シイ子 林 真一郎 (63) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 呼吸器内科学特論
専	教授	ヨシダ シゲトシ 吉田 成利 (54) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 呼吸器外科学特論
専	教授	カムラ 朗夫 河村 朗夫 (50) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 循環器内科学特論
専	教授	カイ トシオ 永井 敏雄 (57) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 循環器内科学特論
専	教授	ナカムラ ヒロキ 仲村 輝也 (51) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 心臓外科学特論
専	教授	マツモト タカヤ 松本 拓也 (50) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 血管外科学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ミヤケ テツロウ 宮田 哲郎 (63) <平成30年4月>
		医学特別研究 血管外科学特論 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	エビノ マヒロシ 海老沼 浩利 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ニシガキ トシヒロ 西澤 俊宏 (42) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	コウゴウ ユウカ 高後 裕 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ゼンヤ ミチオ 銭谷 幹男 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	イトウ テツヒコ 伊藤 鉄英 (60) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ミヤザキ マサル 宮崎 勝 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論
専	教授	イノ オサム 板野 理 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ミヤケ テツロウ 宮田 哲郎 (63) <平成30年4月>
		医学特別研究 血管外科学特論 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	エビノ マヒロシ 海老沼 浩利 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ニシガキ トシヒロ 西澤 俊宏 (42) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	コウゴウ ユウカ 高後 裕 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ゼンヤ ミチオ 銭谷 幹男 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	イトウ テツヒコ 伊藤 鉄英 (60) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ミヤザキ マサル 宮崎 勝 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論
専	教授	イノ オサム 板野 理 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ミヤケ テツロウ 宮田 哲郎 (64) <平成30年4月>
		医学特別研究 血管外科学特論 医学教育学特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
専	教授	エビノ マヒロシ 海老沼 浩利 (51) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ニシガキ トシヒロ 西澤 俊宏 (43) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	コウゴウ ユウカ 高後 裕 (69) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ゼンヤ ミチオ 銭谷 幹男 (69) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	イトウ テツヒコ 伊藤 鉄英 (61) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ミヤザキ マサル 宮崎 勝 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論
専	教授	イノ オサム 板野 理 (51) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	ハトリ カシ 羽鳥 隆 (57) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論
専	教授	ワシダ ナキ 鷺田 直輝 (46) <平成30年4月>
		医学特別研究 腎臓内科学特論
専	教授	タケナ ツチ 竹中 恒夫 (59) <平成30年4月>
		医学特別研究 腎臓内科学特論
専	教授	サトウ アツヒサ 佐藤 敦久 (57) <平成30年4月>
		医学特別研究 腎臓内科学特論
専	教授	タケト ミル 竹本 稔 (51) <平成30年4月>
		医学特別研究 糖尿病・代謝・内分泌学特論
専	教授	イワカ ツヨシ 岩坂 剛 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 産婦人科学特論
専	教授	キカワ ミヒロ 北川 道弘 (70) <平成30年4月>
		産婦人科学特論
専	教授	タケ ヒロアキ 田中 宏一 (53) <平成30年4月>
		医学特別研究 産婦人科学特論

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	ハトリ カシ 羽鳥 隆 (57) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論
専	教授	ワシダ ナキ 鷺田 直輝 (46) <平成30年4月>
		医学特別研究 腎臓内科学特論
専	教授	タケナ ツチ 竹中 恒夫 (59) <平成30年4月>
		医学特別研究 腎臓内科学特論
専	教授	サトウ アツヒサ 佐藤 敦久 (57) <平成30年4月>
		医学特別研究 腎臓内科学特論
専	教授	タケト ミル 竹本 稔 (51) <平成30年4月>
		医学特別研究 糖尿病・代謝・内分泌学特論
専	教授	イワカ ツヨシ 岩坂 剛 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 産婦人科学特論
専	教授	キカワ ミヒロ 北川 道弘 (70) <平成30年4月>
		産婦人科学特論
専	教授	タケ ヒロアキ 田中 宏一 (53) <平成30年4月>
		医学特別研究 産婦人科学特論

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	ハトリ カシ 羽鳥 隆 (58) <平成30年4月>
		医学特別研究 消化器外科学特論
専	教授	ワシダ ナキ 鷺田 直輝 (47) <平成30年4月>
		医学特別研究 腎臓内科学特論
専	教授	タケナ ツチ 竹中 恒夫 (60) <平成30年4月>
		医学特別研究 腎臓内科学特論
専	教授	サトウ アツヒサ 佐藤 敦久 (58) <平成30年4月>
		医学特別研究 腎臓内科学特論
専	教授	タケト ミル 竹本 稔 (52) <平成30年4月>
		医学特別研究 糖尿病・代謝・内分泌学特論
専	教授	イワカ ツヨシ 岩坂 剛 (69) <平成30年4月>
		医学特別研究 産婦人科学特論
専	教授	キカワ ミヒロ 北川 道弘 (71) <平成30年4月>
		産婦人科学特論
専	教授	タケ ヒロアキ 田中 宏一 (54) <平成30年4月>
		医学特別研究 産婦人科学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ススム ノブキ 進 伸幸 (56) <平成30年4月>
		産婦人科学特論
専	教授	カムラ カズヒロ 河村 和弘 (48) <平成31年4月>
		医学特別研究 産婦人科学特論
専	教授	オオワタ ミチヲ 大和田 倫孝 (62) <平成30年4月>
		産婦人科学特論
専	教授	ウケグチ ジュン 堀口 淳 (57) <平成30年4月>
		医学特別研究 乳腺外科学特論
専	教授	ミズノ ハルオ 水野 晴夫 (52) <平成30年4月>
		小児科学特論
専	教授	グンゾウ ユウジ 郡司 勇治 (57) <平成30年4月>
		小児科学特論
専	教授	フジモト ヤスシ 淵本 康史 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 小児外科学特論
専	教授	イシイ ケン 石井 賢 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 整形外科科学特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ススム ノブキ 進 伸幸 (56) <平成30年4月>
		産婦人科学特論
専	教授	カムラ カズヒロ 河村 和弘 (47) <平成30年4月>
		医学特別研究 産婦人科学特論
専	教授	オオワタ ミチヲ 大和田 倫孝 (62) <平成30年4月>
		産婦人科学特論
専	教授	ウケグチ ジュン 堀口 淳 (57) <平成30年4月>
		医学特別研究 乳腺外科学特論
専	教授	ミズノ ハルオ 水野 晴夫 (52) <平成30年4月>
		小児科学特論
専	教授	グンゾウ ユウジ 郡司 勇治 (57) <平成30年4月>
		小児科学特論
専	教授	フジモト ヤスシ 淵本 康史 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 小児外科学特論
専	教授	イシイ ケン 石井 賢 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 整形外科科学特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ススム ノブキ 進 伸幸 (57) <平成30年4月>
		産婦人科学特論
専	教授	カムラ カズヒロ 河村 和弘 (48) <平成30年4月>
		医学特別研究 産婦人科学特論
専	教授	オオワタ ミチヲ 大和田 倫孝 (63) <平成30年4月>
		産婦人科学特論
専	教授	ウケグチ ジュン 堀口 淳 (58) <平成30年4月>
		医学特別研究 乳腺外科学特論
専	教授	ミズノ ハルオ 水野 晴夫 (53) <平成30年4月>
		小児科学特論
専	教授	グンゾウ ユウジ 郡司 勇治 (58) <平成30年4月>
		小児科学特論
専	教授	フジモト ヤスシ 淵本 康史 (57) <平成30年4月>
		医学特別研究 小児外科学特論
専	教授	イシイ ケン 石井 賢 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 整形外科科学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	ナノウ マサシ 内藤 正俊 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 整形外科科学特論
専	教授	スガヤ マコト 菅谷 誠 (47) <平成30年4月>
		医学特別研究 皮膚科学特論
専	教授	ヒロセ コウイチ 廣瀬 晃一 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 リウマチ・膠原病学特論
専	教授	オオタ アキエ 大田 明英 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 リウマチ・膠原病学特論
専	教授	マツザキ キョウイチ 松崎 恭一 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 形成外科学特論
専	教授	カクタ ワタル 角田 亘 (51) <平成30年4月>
		医学特別研究 リハビリテーション医学特論
専	教授	ムライ ヒロキ 村井 弘之 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 神経内科学特論
専	教授	カワ ケンイチロウ 桂 研一郎 (58) <平成30年4月>
		医学特別研究 神経内科学特論

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	ナノウ マサシ 内藤 正俊 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 整形外科科学特論
専	教授	スガヤ マコト 菅谷 誠 (47) <平成30年4月>
		医学特別研究 皮膚科学特論
専	教授	ヒロセ コウイチ 廣瀬 晃一 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 リウマチ・膠原病学特論
専	教授	オオタ アキエ 大田 明英 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 リウマチ・膠原病学特論
専	教授	マツザキ キョウイチ 松崎 恭一 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 形成外科学特論
専	教授	カクタ ワタル 角田 亘 (51) <平成30年4月>
		医学特別研究 リハビリテーション医学特論
専	教授	ムライ ヒロキ 村井 弘之 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 神経内科学特論
専	教授	カワ ケンイチロウ 桂 研一郎 (58) <平成30年4月>
		医学特別研究 神経内科学特論

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	ナノウ マサシ 内藤 正俊 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 整形外科科学特論
専	教授	スガヤ マコト 菅谷 誠 (48) <平成30年4月>
		医学特別研究 皮膚科学特論
専	教授	ヒロセ コウイチ 廣瀬 晃一 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 リウマチ・膠原病学特論
専	教授	オオタ アキエ 大田 明英 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 リウマチ・膠原病学特論
専	教授	マツザキ キョウイチ 松崎 恭一 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 形成外科学特論
専	教授	カクタ ワタル 角田 亘 (52) <平成30年4月>
		医学特別研究 リハビリテーション医学特論
専	教授	ムライ ヒロキ 村井 弘之 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 神経内科学特論
専	教授	カワ ケンイチロウ 桂 研一郎 (59) <平成30年4月>
		医学特別研究 神経内科学特論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	アカツ ナキ 赤松 直輝 (55) <平成30年4月>
		神経内科学特論
専	教授	ゴトウ ジュン 後藤 順 (62) <平成30年4月>
		神経内科学特論
専	教授	カヤマ マサ 永山 正雄 (59) <平成30年4月>
		神経内科学特論
専	教授	ツジ ショウジ 辻 省次 (66) <平成30年4月>
		医学特別研究 神経内科学特論
専	教授	ナカザト ミチコ 中里 道子 (53) <平成30年4月>
		医学特別研究 精神科学特論
専	教授	カシマ マサト 河島 雅到 (51) <平成30年4月>
		医学特別研究 脳神経外科学特論
専	教授	サエキ ナカヲ 佐伯 直勝 (67) <平成30年4月>
		脳神経外科学特論
専	教授	モリ ケイタ 森 圭介 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	アカツ ナキ 赤松 直輝 (55) <平成30年4月>
		神経内科学特論
専	教授	ゴトウ ジュン 後藤 順 (62) <平成30年4月>
		神経内科学特論
専	教授	カヤマ マサ 永山 正雄 (59) <平成30年4月>
		神経内科学特論
専	教授	ツジ ショウジ 辻 省次 (66) <平成30年4月>
		医学特別研究 神経内科学特論
専	教授	ナカザト ミチコ 中里 道子 (53) <平成30年4月>
		医学特別研究 精神科学特論
専	教授	カシマ マサト 河島 雅到 (51) <平成30年4月>
		医学特別研究 脳神経外科学特論
専	教授	サエキ ナカヲ 佐伯 直勝 (67) <平成30年4月>
		脳神経外科学特論
専	教授	モリ ケイタ 森 圭介 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	アカツ ナキ 赤松 直輝 (56) <平成30年4月>
		神経内科学特論
専	教授	ゴトウ ジュン 後藤 順 (63) <平成30年4月>
		神経内科学特論
専	教授	カヤマ マサ 永山 正雄 (60) <平成30年4月>
		神経内科学特論
専	教授	ツジ ショウジ 辻 省次 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 神経内科学特論 遺伝医学特論
専	教授	ナカザト ミチコ 中里 道子 (54) <平成30年4月>
		医学特別研究 精神科学特論
専	教授	カシマ マサト 河島 雅到 (52) <平成30年4月>
		医学特別研究 脳神経外科学特論
専	教授	サエキ ナカヲ 佐伯 直勝 (68) <平成30年4月>
		脳神経外科学特論
専	教授	モリ ケイタ 森 圭介 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ウスイ トモヒコ 臼井 智彦 (48) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論
専	教授	シミズ キミヤ 清水 公也 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論
専	教授	ツル タツヒコ 水流 忠彦 (64) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論
専	教授	ウサミ シンイチ 宇佐美 真一 (65) <平成32年4月>
		医学特別研究 耳鼻咽喉科学特論
専	教授	オカノ ミツヒロ 岡野 光博 (53) <平成30年4月>
		医学特別研究 耳鼻咽喉科学特論
専	教授	ノグチ ヨシヒロ 野口 佳裕 (54) <平成30年4月>
		耳鼻咽喉科学特論
専	教授	ナカセキ トモキ 中世古 知昭 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 血液内科学特論
専	教授	オヒタニ ケンジ 織谷 健司 (58) <平成30年4月>
		医学特別研究 血液内科学特論

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ウスイ トモヒコ 臼井 智彦 (48) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論
専	教授	シミズ キミヤ 清水 公也 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論
専	教授	ツル タツヒコ 水流 忠彦 (64) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論
専	教授	ウサミ シンイチ 宇佐美 真一 (65) <平成32年4月>
		医学特別研究 耳鼻咽喉科学特論
専	教授	オカノ ミツヒロ 岡野 光博 (53) <平成30年4月>
		医学特別研究 耳鼻咽喉科学特論
専	教授	ノグチ ヨシヒロ 野口 佳裕 (54) <平成30年4月>
		耳鼻咽喉科学特論
専	教授	ナカセキ トモキ 中世古 知昭 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 血液内科学特論
専	教授	オヒタニ ケンジ 織谷 健司 (58) <平成30年4月>
		医学特別研究 血液内科学特論

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ウスイ トモヒコ 臼井 智彦 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論
専	教授	シミズ キミヤ 清水 公也 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論
専	教授	ツル タツヒコ 水流 忠彦 (65) <平成30年4月>
		医学特別研究 眼科学特論
専	教授	ウサミ シンイチ 宇佐美 真一 (65) <平成32年4月>
		医学特別研究 耳鼻咽喉科学特論
専	教授	オカノ ミツヒロ 岡野 光博 (54) <平成30年4月>
		医学特別研究 耳鼻咽喉科学特論
専	教授	ノグチ ヨシヒロ 野口 佳裕 (55) <平成30年4月>
		耳鼻咽喉科学特論
専	教授	ナカセキ トモキ 中世古 知昭 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 血液内科学特論
専	教授	オヒタニ ケンジ 織谷 健司 (59) <平成30年4月>
		医学特別研究 血液内科学特論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ヒグチ ハジメ 樋口 肇 (52) <平成30年4月>
		医学特別研究 臨床腫瘍学特論
専	教授	イシグロ ヒロシ 石黒 洋 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 臨床腫瘍学特論
専	教授	オホira ヨシキ 大平 善之 (42) <平成30年4月>
		医学特別研究 総合診療学特論
専	教授	オカノ 孝和 岡 孝和 (58) <平成30年4月>
		医学特別研究 心療内科学特論
専	教授	ウラノ トモヒコ 浦野 友彦 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 老年病学特論
専	教授	クラハシ 清泰 倉橋 清泰 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 麻酔科学特論
専	教授	オカノ 恵司 小黒 恵司 (59) <平成30年4月>
		医学特別研究 救急医学特論
専	教授	オダウ ショウ 工藤 祥 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 放射線科学特論

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ヒグチ ハジメ 樋口 肇 (52) <平成30年4月>
		医学特別研究 臨床腫瘍学特論
専	教授	イシグロ ヒロシ 石黒 洋 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 臨床腫瘍学特論
専	教授	オホira ヨシキ 大平 善之 (42) <平成30年4月>
		医学特別研究 総合診療学特論
専	教授	オカノ 孝和 岡 孝和 (58) <平成30年4月>
		医学特別研究 心療内科学特論
専	教授	ウラノ トモヒコ 浦野 友彦 (49) <平成30年4月>
		医学特別研究 老年病学特論
専	教授	クラハシ 清泰 倉橋 清泰 (55) <平成30年4月>
		医学特別研究 麻酔科学特論
専	教授	オカノ 恵司 小黒 恵司 (59) <平成30年4月>
		医学特別研究 救急医学特論
専	教授	オダウ ショウ 工藤 祥 (67) <平成30年4月>
		医学特別研究 放射線科学特論

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	ヒグチ ハジメ 樋口 肇 (53) <平成30年4月>
		医学特別研究 臨床腫瘍学特論
専	教授	イシグロ ヒロシ 石黒 洋 (51) <平成30年4月>
		医学特別研究 臨床腫瘍学特論
専	教授	オホira ヨシキ 大平 善之 (43) <平成30年4月>
		医学特別研究 総合診療学特論
専	教授	オカノ 孝和 岡 孝和 (59) <平成30年4月>
		医学特別研究 心療内科学特論
専	教授	ウラノ トモヒコ 浦野 友彦 (50) <平成30年4月>
		医学特別研究 老年病学特論
専	教授	クラハシ 清泰 倉橋 清泰 (56) <平成30年4月>
		医学特別研究 麻酔科学特論
専	教授	オカノ 恵司 小黒 恵司 (60) <平成30年4月>
		医学特別研究 救急医学特論
専	教授	オダウ ショウ 工藤 祥 (68) <平成30年4月>
		医学特別研究 放射線科学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	教授	キョウ シゲル 桐生 茂 (49) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 放射線科学特論
専	教授	モセ トシミツ 百瀬 敏光 (60) 〈平成30年4月〉
		放射線科学特論
専	教授	アカハ マサキ 赤羽 正章 (50) 〈平成30年4月〉
		放射線科学特論
専	教授	シサワ タツオ 下澤 達雄 (55) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 臨床検査医学特論
専	教授	ウメム ツクル 梅村 創 (68) 〈平成30年4月〉
		臨床検査医学特論
専	教授	イガキ セイイチ 稲垣 誠一 (62) 〈平成30年4月〉
		医学研究特論

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	教授	キョウ シゲル 桐生 茂 (49) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 放射線科学特論
専	教授	モセ トシミツ 百瀬 敏光 (60) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 放射線科学特論
専	教授	アカハ マサキ 赤羽 正章 (50) 〈平成30年4月〉
		放射線科学特論
専	教授	シサワ タツオ 下澤 達雄 (55) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 臨床検査医学特論
専	教授	ウメム ツクル 梅村 創 (68) 〈平成30年4月〉
		臨床検査医学特論
専	教授	イガキ セイイチ 稲垣 誠一 (62) 〈平成30年4月〉
		医学研究特論
専	大学院長 教授	ミヅ ユウイチロウ 三浦 総一郎 (66) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ナカ ヒサノリ 中田 光紀 (51) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
専	教授	キョウ シゲル 桐生 茂 (50) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 放射線科学特論
専	教授	モセ トシミツ 百瀬 敏光 (61) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 放射線科学特論
専	教授	アカハ マサキ 赤羽 正章 (51) 〈平成30年4月〉
		放射線科学特論
専	教授	シサワ タツオ 下澤 達雄 (56) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 臨床検査医学特論
専	教授	ウメム ツクル 梅村 創 (69) 〈平成30年4月〉
		臨床検査医学特論
専	教授	イガキ セイイチ 稲垣 誠一 (63) 〈平成30年4月〉
		医学研究特論
専	大学院長 教授	ミヅ ユウイチロウ 三浦 総一郎 (67) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 消化器内科学特論
専	教授	ナカ ヒサノリ 中田 光紀 (52) 〈平成30年4月〉
		医学特別研究 公衆衛生学特論
専	教授	ワダ コウジ 和田 耕治 (44) 〈平成30年7月〉
		医学特別研究 公衆衛生学特論 医療システム学特論 国際医療協力学特論 国際感染症学特論 医療政策学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	ガツ ランドウ ロンジャー Ngatu Nlandu Roger (51) <平成30年4月>
		国際医療協力学特論
専	准教授	カワ トオ 小川 俊夫 (52) <平成30年4月>
		公衆衛生学特論 医療システム学特論 国際医療協力学特論 医療政策学特論
専	准教授	カギシ キウタロウ 川岸 久太郎 (46) <平成30年4月>
		解剖学特論
専	准教授	ハシモ タカ 橋本 佐 (42) <平成30年4月>
		精神科学特論
兼担	准教授	クワ ケイ 栗田 康生 (48) <平成30年4月>
		循環器内科学特論

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	ガツ ランドウ ロンジャー Ngatu Nlandu Roger (51) <平成30年4月>
		国際医療協力学特論
専	准教授	カワ トオ 小川 俊夫 (52) <平成30年4月>
		公衆衛生学特論 医療システム学特論 国際医療協力学特論 医療政策学特論
専	准教授	カギシ キウタロウ 川岸 久太郎 (46) <平成30年4月>
		解剖学特論
専	准教授	ハシモ タカ 橋本 佐 (42) <平成30年4月>
		精神科学特論
兼担	准教授	クワ ケイ 栗田 康生 (48) <平成30年4月>
		循環器内科学特論

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	イシカ ベンゾウ 石川 ベンゾウ (51) <平成30年7月>
		医療システム学特論 医療政策学特論
専	教授	カミモト 外 須美夫 (66) <平成31年1月>
		医学特別研究 麻酔科学特論
専	教授	ヒロカ シンカ 廣岡 良隆 (59) <平成31年1月>
		医学特別研究 循環器内科学特論
専	教授	タカハシ 高橋 芳久 (47) <平成31年4月>
		医学特別研究 病理学特論
専	准教授	ガツ ランドウ ロンジャー Ngatu Nlandu Roger (52) <平成30年4月>
		国際医療協力学特論
専	准教授	カワ トオ 小川 俊夫 (53) <平成30年4月>
		公衆衛生学特論 医療システム学特論 国際医療協力学特論 医療政策学特論
専	准教授	カギシ キウタロウ 川岸 久太郎 (47) <平成30年4月>
		解剖学特論
専	准教授	ハシモ タカ 橋本 佐 (43) <平成30年4月>
		精神科学特論
兼担	教授	ムラカミ 村瀬 真一 (56) <平成31年4月>
		薬理学特論
兼担	准教授	クワ ケイ 栗田 康生 (49) <平成30年4月>
		循環器内科学特論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼担	准教授	田村 雄一 (39) 平成30年4月
		循環器内科学特論
兼担	准教授	井岡 崇 (47) 平成30年4月
		腎臓内科学特論
兼担	講師	亀掛川 喜美子 (41) 平成30年4月
		腎臓内科学特論
兼担	教授	天野 隆弘 (74) 平成30年4月
		医学研究特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
兼担	教授副学長	松谷 有希雄 (68) 平成30年4月
		医療政策学特論
兼担	教授	高橋 泰 (58) 平成30年4月
		医療政策学特論
兼担	教授	清水 伸幸 (52) 平成30年4月
		医学研究特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
兼担	准教授	林 省吾 (41) 平成30年4月
		医学研究特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼担	准教授	田村 雄一 (39) 平成30年4月
		循環器内科学特論
兼担	准教授	井岡 崇 (47) 平成30年4月
		腎臓内科学特論
兼担	講師	亀掛川 喜美子 (41) 平成30年4月
		腎臓内科学特論
兼担	教授	天野 隆弘 (74) 平成30年4月
		医学研究特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
兼担	教授副学長	松谷 有希雄 (68) 平成30年4月
		医療政策学特論
兼担	教授	高橋 泰 (58) 平成30年4月
		医療政策学特論
兼担	教授	清水 伸幸 (52) 平成30年4月
		医学研究特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
兼担	准教授	林 省吾 (41) 平成30年4月
		医学研究特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼担	准教授	田村 雄一 (40) 平成30年4月
		循環器内科学特論
兼担	准教授	井岡 崇 (48) 平成30年4月
		腎臓内科学特論
兼担	講師	亀掛川 喜美子 (42) 平成30年4月
		腎臓内科学特論
兼担	教授	天野 隆弘 (75) 平成30年4月
		医学研究特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
兼担	教授副学長	松谷 有希雄 (69) 平成30年4月
		医療政策学特論
兼担	教授	高橋 泰 (60) 平成30年4月
		医療政策学特論
兼担	教授	清水 伸幸 (53) 平成30年4月
		医学研究特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論
兼担	准教授	林 省吾 (42) 平成30年4月
		医学研究特論 医学教育技法特論 シミュレーション医学教育技法 臨床医学教育技法 医学教育専門家特論

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、実(実)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年4月予定より1年早く山崎力教授就任。
- ・平成30年4月予定より1年早く河村和弘教授就任。
- ・平成30年4月三浦総一郎教授就任。平成30年1月教員審査済み。
- ・平成30年4月百瀬敏光教授就任。平成30年1月教員審査済み。
- ・平成30年4月中田光紀教授就任。平成30年1月教員審査済み。
- ・平成30年4月西村渉教授就任。平成30年1月教員審査済み

【令和元年度】

- ・平成30年7月和田耕治教授就任。平成30年4月教員審査済み。
- ・平成30年7月石川ベンジャミン光一教授就任。平成30年4月教員審査済み。
- ・平成30年7月山田哲司教授自己都合により退任。
- ・平成31年3月北村聖教授自己都合により退任。
- ・平成31年3月小堀浩幸教授自己都合により退任（後任教員について、今後教員審査受審予定である）。
- ・平成31年4月外須美夫教授就任。平成30年11月教員審査済み。
- ・平成31年4月廣岡良隆教授就任。平成30年11月教員審査済み。
- ・平成31年4月高橋芳久教授就任。平成31年1月教員審査済み。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
30		30
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
100	4	0	0	104	102	4	0	0	106
(97)	(4)	(0)	(0)	(101)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
75	1	28			80	2	24		
(72)	(1)	(28)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
103	4	0	0	107	105	4	0	0	109
[3]	[0]	[0]	[0]	[3]	[5]	[0]	[0]	[0]	[5]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
81	2	24			83	2	24		
[6]	[1]	[Δ4]			[8]	[1]	[Δ4]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要受済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	16	26
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{109}{104} = 104.8 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{16}{106} = 15.09 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	宮木 幸一	H30.4	必修	医学特別研究	①	自己都合により平成30年3月31日付退職のため 就任辞退（30）			
				選択	公衆衛生学特論	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	山田 哲司	H30.7	必修	医学特別研究	①	H30.7.31付け自己都合により辞任（元）			
				選択	分子生物学特論	①				
				選択	医学教育学特論	①				
				自由	医学教育技法特論	①				
				自由	シミュレーション 医学教育技法	①				
				自由	臨床医学教育技法	①				
2	教授	北村 聖	H31.3	必修	医学研究特論	①	H31.3.31付け自己都合により辞任（元）			
				必修	医学特別研究	①				
				選択	医学教育学特論	①				
				自由	医学教育技法特論	①				
				自由	シミュレーション 医学教育技法	①				
				自由	臨床医学教育技法	①				
3	教授	小堀 浩幸	H31.3	必修	医学研究特論	①	H31.3.31付け自己都合により辞任（元）			
				必修	医学特別研究	①				
				選択	薬理学特論	②				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
3	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	1	科目	選択	2	科目
		自由	4	科目	自由	4	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	7	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
4	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	4	科目	自由	4	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	9	科目	計	2	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{4}{104} = \boxed{3.84} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合退職が3名発生しているが、必修科目については専任教員が対応しており、教育上の支障はないものとする。また、選択科目については、今後新たに採用活動を行う予定である。

当該教員が担当(もしくは担当予定)の科目の履修学生へは個別に通知を行っている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
設 置 時 (30年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 (医学専攻)	留意事項 認可時の採用では、カリキュラム等の特性上、経験豊かな教員を採用したため、定年年齢の教員が多くなった。今後、採用する教員については、専攻の継続的な発展を踏まえ、原則、完成年度において退職年齢を超えることのない50歳代以下の教員を中心に選考を行っている。(30) 昨年度の中田光紀教授に続き、令和元年度も森泰文教授、岡本秀彦教授、高橋芳久教授を任用するなど、50代・40代の教員の採用を行っている。(元)	履行中	今後も積極的に若手教員を任用・採用する方針を継続していく予定である。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学研究科医学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特に変更は見当たらない	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
研究科管理運営委員会、研究科会議、FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
研究科管理運営委員会（研究科長、専攻主任、分野責任者、教務担当者等）週1回
研究科会議（研究科長、専攻主任、分野責任者、研究指導教員）月1回
FD委員会（FD委員）FD開催にあわせて実施

c 委員会の審議事項等
研究科管理運営委員会（研究科運営に関する重要事項全般）
研究科会議（研究科運営に関する重要事項の情報共有、入学者選考等）
FD委員会（FDの企画案）

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 医学専攻研究指導教員を対象としたFD（5/29実施予定）
- ・ 大学院教員全員を対象としたFD（毎月）
- ・ 医学専攻・公衆衛生学専攻研究指導教員を対象としたFD（8月実施予定）

b 実施方法

- ・ 遠隔テレビ会議システムも使用したプレゼンテーション及び質疑応答

c 開催状況（教員の参加状況含む）
原則として全員参加（不参加の場合は理由が必要）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
履修ガイドの作成、院生アンケートを実施

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
実施予定（前期・後期）

b 教員や学生への公開状況、方法等
各教員へは集計結果をフィードバック。学生はホームページなどで集計結果を公開予定。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

昨年4月に開設した、医学研究科公衆衛生学専攻（修士課程）は、前年度に開設した医学部医学科及び同時に開設した医学専攻（博士課程）とも連携し、現代の公衆衛生上のニーズに適合し、国際的に活躍できる公衆衛生の専門家の養成を実現することを目的として掲げ、設置したものである。

昨年4月入学の第1期生の募集に当たっては、入学定員10名に対し、多くの志願者があり、最終的には、外国人3名を含む14名の入学者（転研究科生も入れると15名）を迎えることができ、優秀な人材を確保できた。本年度も、外国人3名を含む14名の入学者を迎え、研究報告会やゼミにおける研究報告にこれらの多様性が反映され、非常に活気があるものとなっている。

今後設置計画を着実に履行するとともに、施設、設備等の充実を図り、保健・医療・福祉分野における、優れた人材を養成していきたい。

また、同じく昨年4月に開設した、医学研究科医学専攻（博士課程）は、前年度に開設した医学部医学科及び同時に開設した公衆衛生学専攻（修士課程）と連携し、優れた医学研究者及び優れた医学研究能力を備えた高度専門職業人の養成を目的として、設置したものである。

本年4月入学の第1期生の募集に当たっては、入学定員20名に対し、多くの志願者があり、最終的には、外国人3名を含む25名の入学者（転研究科生も入れると26名）、本年度は19名（転入学者も入れると20名）の入学者を迎えることができ、優秀な人材を確保できていると考えている。

今後設置計画を着実に履行するとともに、施設、設備及び研究支援体制等の充実を図り、医学分野における、優れた人材を養成していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学は2年に一度自己点検評価を行うとともに、平成19年度および平成26年度には公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、適格評価を得た。

最新では、平成29年度に大学全体で3ポリシーと国際交流のさらなる進展などをテーマに自己点検評価を行い、本年6月中に公表することとしている。次期自己点検評価時に新学部（新大学院）を含めた内容で実施する予定である。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 5 月 31 日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。